

2027年4月入学

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

修士課程

学生募集要項

GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE, DENTISTRY AND
PHARMACEUTICAL SCIENCES

OKAYAMA UNIVERSITY

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

連絡先 岡山大学医療系事務部学務課 教務グループ大学院担当

所在地 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号

電話 TEL：086-235-7986（直通）

<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/>

目 次

アドミッション・ポリシー

1	募集人員	1 ページ
2	入試日程	1 ページ
3	出願資格	1 ページ
4	出願資格における個別の入学資格審査	2 ページ
5	障がい等のある方の出願	2 ページ
6	出願手続	2 ページ
7	受験票の交付	5 ページ
8	入学者選抜方法等	6 ページ
9	合格者発表	7 ページ
10	入学手続	7 ページ
11	入試情報の開示	7 ページ
12	その他	8 ページ
	出願資格 事前審査手続要領	9 ページ
	医歯科学専攻案内	11 ページ
	医歯科学専攻担当教授の主な研究内容	27 ページ

入学試験に関する照会先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医療系事務部学務課 教務グループ大学院担当

TEL：086-235-7986

学生募集要項及び出願書類は、本研究科公式ウェブサイトからダウンロードの上、
出願してください。

アドミッション・ポリシー

大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）では、医歯科学学位プログラムと公衆衛生学学位プログラムを設置し、それぞれ次のような学生を求めています。

【医歯薬学総合研究科修士課程医歯科学学位プログラム】

複眼的視点を持つ高度人材を育成するため、文系・理系を含め学部の専門分野は問いません。

- ・出身学部の専門性に応じて、学士に相応しい知識・技能・態度を習得している学生を求めています。
- ・学部教育または社会人としての実務経験を通して培った学部の専門性に加えて医歯科学を修めることで、ディグリー・ポリシーが想定する高度人材として世に出る強い意思を有する学生を求めています。
- ・実学としての医歯科学を学び、自らの手で粘り強く先端研究を行って知識・技能・態度を総合的に習得する能力を持つ学生を求めています。
- ・知識・技能・態度の習得や自立・自己実現のため、周囲との信頼関係を醸成できる学生を求めています。
- ・さらに、自立・自己実現には学際性や国際性が必須となった時代背景を理解し、実践できる学生を求めています。

【医歯薬学総合研究科修士課程公衆衛生学学位プログラム】

リサーチマインドを持って地域に貢献する保健・医療・歯科保健・福祉従事者を育成するため、原則として医療分野のバックグラウンドを持つ方を求めています。

- ・医療関連学部で習得した専門知識、また医療分野で実務経験を有する方を求めています。
- ・さらに本修士課程で公衆衛生学を修めることで、ディグリー・ポリシーが想定する高度人材として世に出る強い意思を有する学生を求めています。
- ・実学としての公衆衛生学を学び、自らの手で粘り強く先端研究を行って知識・技能・態度を総合的に習得する能力を持つ学生を求めています。
- ・知識・技能・態度の習得や自立・自己実現のため、周囲との信頼関係を醸成できる学生を求めています。
- ・さらに、自立・自己実現には学際性や国際性が必須となった時代背景を理解し、実践できる学生を求めています。

入学者選抜の基本方針

入学者選抜試験を毎年夏と冬の2回実施し、合格者は4月に入学します。

・日本人志願者等

筆記試験と口述試験を課しています。面接試験では、企業等での経験や意欲、志望動機等も考慮し、複数の教員が多面的に確認します。筆記試験では、医歯科学分野の平易な英語課題により、語学力のみならず、学士レベルの教養、論理構造の理解力、日本語の表現力等を総合的に評価します。口述試験では、キャリアプランの具体性、志望度、学部で習得した専門性、人間的信頼性などについて志望分野の教員が口頭質問により評価します。

・外国人志願者等

面接試験、筆記試験と口述試験を課しています。面接試験では、学部で習得した専門性、キャリアプラン、就学的前提となる異文化適応状況と経済状況などについて、さらに社会人コース志願者は、企業等での経験や意欲、志望動機等も考慮し、複数の教員が多面的に確認します。筆記試験では、英語課題または日本語課題から1カ国語を選択し、論理構造の理解力、解答の執筆能力等を総合的に評価します。口述試験は、日本人志願者等の場合と同様に評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
日本人志願者等	☆	面接（社会人コース志願者のみ） 口述試験（専門科目）	◎	英語	☆	口述試験（専門科目）
外国人志願者等	☆	面接 日本語又は英語の外部検定試験の成績 口述試験（専門科目）	◎	英語又は日本語	☆	面接 口述試験（専門科目）

(注)◎は特に重視する要素，☆は総合的な判断となる要素

各要素に関する資料は、「主とする資料」であり，それ以外の要素でも活用する場合はある。

入学前に学習しておくことが期待される内容

英語力の向上を目指されることを期待します。関連分野で求められる専門領域の知識・技能の向上を目指してください。研究を円滑に推進していくには，合格後にさらに専門知識を深めておく必要があります。

1 募集人員

専攻	学位プログラム名	募集人員
医歯科学専攻	医歯科学学位プログラム（一般コース）	20人
	医歯科学学位プログラム（社会人コース）	
	公衆衛生学学位プログラム（MPHプログラム）	

※募集人員は、医歯科学学位プログラム（一般コース）（社会人コース）、公衆衛生学学位プログラム（MPHプログラム）ごとの人数ではなく、医歯科学専攻全体で募集している人数です。

※出願時に希望する学位プログラム（医歯科学学位プログラムの場合はコース）を選択してください。

2 入試日程

	第1回入試	第2回入試
出願期間	2026年 7月10日（金） ～ 2026年 7月24日（金）	2026年12月 1日（火） ～ 2026年12月15日（火）
試験日	（日本人志願者） 2026年 8月19日（水）	（日本人志願者） 2027年 1月20日（水）
	（外国人志願者及び社会人コース志願者） 2026年 8月18日（火）	（外国人志願者及び社会人コース志願者） 2027年 1月19日（火）
	2026年 8月19日（水）	2027年 1月20日（水）
合格者発表	2026年 9月 4日（金）	2027年 2月19日（金）

3 出願資格

次の（1）～（11）のいずれかに該当する者又は2027年3月までに該当する見込みの者。ただし、医歯科学学位プログラム（社会人コース）を志願する者は、（1）～（11）のいずれかに該当する者又は2027年3月までに該当する見込みの者で、且つ（12）に該当する者に限る。

- （1）日本の大学を卒業した者
- （2）学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- （3）外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- （7）日本の専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める

日以後に修了した者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により日本の大学院に入学した者で、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの
- (11) 日本の大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）で本研究科が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの
- (12) 入学時に日本国内の官公庁、教育機関、企業・病院等で勤務する者で2年以上の職歴があり、入学後もその身分を有する者

(注1) 出願資格(2)に該当する見込みの者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与申請受理証明書を提出できる者
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(注2) 出願資格(9)～(11)に該当する入学志願者は、出願の前に個別の入学資格審査を行います。

(注3) 出願資格(11)の「これに準ずる者として文部科学大臣が定める者」とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 外国において学校教育における15年の課程を修了した者
- ② 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
- ③ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

4 出願資格における個別の入学資格審査

3の「出願資格」(9)～(11)による入学志願者は、出願の前に入学資格認定のための個別の入学資格審査を行いますので、9ページの「出願資格 事前審査手続要領」を参照の上、期限までに必要書類を提出してください。

5 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

	第1回入試	第2回入試
相談締切期限	2026年6月5日(金)	2026年11月10日(火)
相談方法	「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書、障害者手帳の写し（交付されている方のみ）を添えて相談してください。	
請求先・相談先	6 出願手続の(3) 出願書類提出先に請求・相談ください。	

6 出願手続

(1) 出願方法

入学志願者は、注意事項に留意し、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間内に下記の提出先へ持参又は出願期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

出願に必要な書類等のうち、様式が指定されているものについては、医歯薬学総合研究科公式ウェブサイトよりダウンロードの上、提出してください。

【<https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/>】

(2) 出願期間

第1回入試	第2回入試
2026年 7月10日(金)～ 2026年 7月24日(金) 必着	2026年12月 1日(火)～ 2026年12月15日(火) 必着

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。(ただし、土曜日・日曜日、祝日を除きます。)

郵送の場合も、**上記期限内に必着**としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。出願期間中に一部の書類を提出し、出願期間後に不足する書類を追加提出することは認められません。

なお、封筒表面に「**医歯薬学総合研究科(修士課程)入学願書在中**」と朱書きし、**発送時に到着日時を必ず確認**しておいてください。

(3) 出願書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号 岡山大学医療系事務部学務課教務グループ 大学院担当 (鹿田キャンパス管理棟1階) TEL:086-235-7986

(4) 出願上の注意

- ① **出願を希望する方は、あらかじめ志望する教育研究分野の指導教授と面談し、入学後の教育・研究及び修了後の進路について相談してください。**
なお、「公衆衛生学学位プログラム(MPHプログラム)」を希望する場合は、疫学・衛生学分野、公衆衛生学分野又は予防歯科学分野に相談してください。
- ② 出願書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。
- ③ 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ⑤ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑦ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類について、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

(5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
①志願票 ・受験票・写真票	医歯薬学総合研究科公式ウェブサイトよりダウンロードし、印刷したものに記入等の上、提出してください。 電話番号、E-mailは確実に連絡が取れるものを記入し、E-mailは岡山大学からのメール(@adm.okayama-u.ac.jp)が受信できるように設定してください。
②写真	縦4cm×横3cm、カラー、上半身、無帽、正面向きで出願前3か月以内に撮影した写真を「写真票」の所定欄ののりで貼り付けてください。貼る前に、写真の裏面に志望の教育研究分野名と氏名を記入してください。※本人確認が困難となるような写真加工は控えてください。
③入学検定料	30,000円(振込手数料が別に必要です。) 入学検定料は、別紙「入学検定料支払の流れ」に従って支払ってください。支払確認後に、「入学検定料支払証明書」を印刷し、出願書類の所定欄ののりで貼り付けて提出してください。 出願期間の1ヶ月前から入学検定料のオンライン支払手続きが可能です。

	<p>[入学検定料の返還について] 次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の入学検定料は返還しません。 ア 入学検定料を支払ったが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 イ 入学検定料を誤って二重に支払った場合 ウ 下記入学検定料の免除に該当する者が、出願期間内に証明書等の取得が困難なため、入学検定料を支払い、所定の出願手続きを行った場合</p> <p>[入学検定料の免除について] 本学では、2025年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るために、入学検定料免除の特例措置を講じます。 詳細については、本学公式ウェブサイトに掲載している「入学検定料の免除手続き」をご確認ください。 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/menjo.html</p>
④卒業（見込）証明書	<p>出身大学長（学部長）が作成した証明書を提出してください。（卒業証書や学位記ではありません。留学生も同様です。） 中国の大学又は大学院を卒業（修了）した方は、⑫の書類を提出してください。（見込みの場合は在籍中の大学長（学部長）が作成した証明書を提出してください。）</p>
⑤成績証明書	<p>出身大学長（学部長）が作成した証明書を提出してください。 日本の大学に編入学した方は、編入学以前の学校の成績証明書も提出してください。 中国の大学又は大学院を卒業（修了）した方は、⑫の書類を提出してください。（見込みの場合は在籍中の大学長（学部長）が作成した証明書を提出してください。）</p>
⑥受験票等送付用封筒	<p>長形3号封筒（23.5cm×12cm）に、受験票の送付先（入学志願者本人の郵便番号、住所、氏名）を明記し、410円分の切手を貼ってください。</p>
⑦宛名票	<p>合格通知 及び 入学手続書類等の送付用 合格者発表日及び入学手続書類発送時に確実に受理できる住所を記入してください。</p>
⑧受験許可書 ※社会人コース志願者は要提出。	<p>出願時に、官公署・企業・病院等に勤務し、入学後もその職にある方は提出が必要です。（勤務先が変わる場合は不要です。） 医歯薬学総合研究科公式ウェブサイトよりダウンロードした様式を使用して、勤務先（岡山大学病院も含む）が作成したものを提出してください。 なお、本研究科所定の様式によらず、任意の様式でも可としますが、所定様式記載の注意書きを必ず確認した上で、必要事項がすべて含まれる様式としてください。</p>
【外国人志願者のみ】 ⑨語学力を証明する資料 ※	<p>志望する教育研究分野の教授と相談し、第1回入試を受験する場合は2024年8月19日以降に、第2回入試を受験する場合は2025年1月20日以降に受験した、日本語能力試験N2以上の合格通知書、又は、英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の成績証明書を提出してください。</p>
【外国人志願者のみ】 ⑩住民票	<p>現に日本国内に在住の外国人は、市区町村長の交付する住民票（在留資格・在留期間が明示されたもの）を提出してください。 出願時に日本国内に在住しない方は、受験のための有効な査証の写を提出してください。</p>
【外国人志願者のみ】 ⑪パスポートの写し	<p>パスポートの名前、生年月日等が確認できるページの写しを提出してください。</p>

⑫【中国の大学又は大学院を卒業（修了）した志願者のみ】

中国高等教育学生信息网（CHSI）発行の学位認証報告書（英文），学歴証明書（英文）及び成績認証報告書（英文）を提出してください。ただし、CHSIが発行し、岡山大学に直接送付する認証報告書のみ有効とします。

（大学院を修了した者について、学部と大学院の両方の証明書の認証報告書を提出してください。）

CHSI の Web サイト（中国語）<https://www.chsi.com.cn/xlcx/rhsq.jsp>

または（日本語）<http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>

※注意事項：

- ・申請前に、Web サイトに記載されている最新の説明・関連内容をよく読んでください。
- ・認証報告書は、認証機関から大学院医歯薬学総合研究科学務課大学院担当のメールアドレス（kdf7986@adm.okayama-u.ac.jp）又は（3）の出願書類提出先に直接送付されるように手続きをしてください。出願者から岡山大学に提出された認証報告書は受理できません。
- ・認証機関が認証報告書の発行に要する日にちを確認し、本研究科の出願期間に間に合うように申請してください。

※パスポートの写真と提出された写真の照合、受験時の写真照合等において疑わしい点が認められる場合、志願者として受付を行わない、写真の再提出、身分証明書提示、受験者に対する質問を行ったりする場合があります。

【上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。】

※母国において主たる言語として英語を使用している者又は日本国内の4年制大学を卒業した者（卒業見込みを含む）で、上記の⑨語学力を証明する資料を提出できない場合は、第1回入試については2026年6月5日（金）までに、第2回入試については2026年11月10日（火）までに、「6 出願手続の（3）出願書類提出先」へ問い合わせてください。

（6）個人情報の利用目的

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

7 受験票の交付

（1）受験票は、下記のとおり本人あて発送します。

なお、到着予定日までに到着しない場合には、「6 出願手続の（3）出願書類提出先」に連絡してください。

	第1回入試	第2回入試
送付時期	2026年 7月31日（金）頃	2027年 1月 5日（火）頃
到着予定日	2026年 8月 5日（水）頃	2027年 1月 8日（金）頃

（2）受験票は、試験当日、入学手続及び入試情報開示請求の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

8 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、面接試験及び出願書類等を総合して行います。

(1) 試験日及び試験内容

第1回入試

試験日	試験内容		試験時間
2026年 8月18日(火)	面接試験(外国人志願者及び社会人コース志願者のみ)		9:00~(予定)
2026年 8月19日(水)	筆記試験	【「日本人志願者」及び「外国人志願者のうち、3出願資格(1)により出願する者」】 英語 ^{※1} 【「外国人志願者のうち、3出願資格(1)以外により出願する者」】 英語又は日本語から 1カ国語を選択	10:00~12:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00~ ^{※2}

第2回入試

試験日	試験内容		試験時間
2027年 1月19日(火)	面接試験(外国人志願者及び社会人コース志願者のみ)		9:00~(予定)
2027年 1月20日(水)	筆記試験	【「日本人志願者」及び「外国人志願者のうち、3出願資格(1)により出願する者」】 英語 ^{※1} 【「外国人志願者のうち、3出願資格(1)以外により出願する者」】 英語又は日本語から 1カ国語を選択	10:00~12:00
	口述試験	専門科目 (志望教育研究分野)	14:00~ ^{※2}

※1 英語の試験には辞書の持ち込みを認めます。(冊子型のみ可。電子辞書は不可。)

- ・持込可能な辞書：英和辞典(ジーニアス、リーダーズ等)、和英辞典、英英辞典
- ・持込不可の辞書：医歯薬学に関する辞典、英和辞典(ステッドマン医学大事典、南山堂医学英和大辞典、ハイネマン歯科英和辞典等)

※2 詳細は、受験票送付時にお知らせします。

※3 試験に関する重要なお知らせが生じた場合には、医歯薬学総合研究科公式ウェブサイトにより周知を行いますので、必ず確認してください。

(2) 試験場

試験場については、受験票送付時にお知らせします。

9 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり公式ウェブサイトに掲載します。

	第1回入試	第2回入試
日 時	2026年 9月 4日 (金) 10時00分 (予定)	2027年 2月19日 (金) 10時00分 (予定)
掲載場所	https://www.mdps.okayama-u.ac.jp/	

- ① 公式ウェブサイトに合格者の受験番号を掲載し、合格者には同日付けて合格通知書及び入学案内等を、出願時に提出のあった「宛名票」を用いて本人あてに送付します。
- ② 電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続方法

入学手続関係書類は、出願時に提出された「宛名票」を用いて、2027年2月19日(金)付けて合格者あてに発送します。

(2) 入学手続期間

2027年 3月11日(木), 3月12日(金) (予定)

11 入試情報の開示

(1) 開示対象者

2027年4月入学入試の受験者

(2) 開示する内容

- ① 本人の試験成績(総得点, 口述試験結果及び外国人留学生については面接結果)
- ② 合格者の成績情報(本人が受験した選抜の最高点, 最低点 及び 平均点)
ただし, 当該選抜の合格者が5人未満の場合は開示しません。

(3) 開示請求方法

「入試情報開示請求書」(所定様式)に受験票を添えて, 本人が下記(4)の開示請求受付期間中に, 大学院担当あてに提出してください。

なお, 「入試情報開示請求書」は大学院担当の窓口で入手するか, 郵送により請求してください。

郵送で請求する場合には, 返信用封筒(郵便番号・住所・氏名を明記し, 切手(25g以内の郵便物用)を貼った長形3号封筒(縦23.5cm×横12cm)を同封の上, 「受験番号」及び「入試情報開示請求書希望」の旨を明記し, 大学院担当あてに送付してください。

(4) 開示請求受付期間

2027年 5月 6日(木) ~ 6月30日(水)まで
9時00分~17時00分(土・日曜日, 祝日は除く。)

(注) 郵送による開示請求の場合は, 期間内の消印があるものに限り受け付けます。

(5) 開示方法

「入試情報開示請求書」受理後, 通知書の準備ができ次第, 速やかに開示(発送)します。

(ただし、2027年6月より前の請求については、6月以降の開示とします。) 請求書類に不備があるときには、受理しない(修正を求める)ことがあります。

12 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [予定額]
授業料(前半期・後半期共) 267,900円 (年額 535,800円) [予定額]
※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

(2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、入学料又は授業料の全学又は半額の免除を受けられる場合があります。
- ・ 学業成績及び収入状況等の条件を満たしていれば、申請により、各種奨学金の支給又は貸与を受けられる場合があります。
- ・ 修士課程修了後に、本学の博士後期課程(博士課程)への進学を希望する方には、次の奨学金の募集予定があります。

【大本育英会給付奨学金(博士後期課程(博士課程)進学希望者の方へ)】

公益財団法人大本育英会では、岡山大学の博士後期課程(博士課程)の学生(日本国籍に限る)を対象として、年額180万円(予定)の給付型奨学金を設けています。支給期間は原則3年間で、博士前期課程(修士課程)1年次に予約採用の募集を行います。

大本育英会給付奨学金及びその他民間団体・地方公共団体の奨学金の募集内容については、岡山大学ホームページの「民間・地方公共団体の奨学金」で最新情報を確認してください。

【URL】 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/life/seikatu_a2-2.html

(3) 昼夜開講制について

修士課程では、社会人の受講を考慮し、昼間だけでなく夜間等(土曜日、夏季・冬季休業など)においても研究指導を受けることができる場合があります。(大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例(昼夜開講制)を適用した場合)

夜間等での研究指導を受けることを希望する場合については、志望する教育研究分野の教授とあらかじめ相談してください。

ただし、夜間等での研究指導を受けることができる場合でも、講義及び実習等については昼間の開講となる場合がありますので、勤務先ともよく相談の上、出願してください。

出願資格 事前審査手続要領

出願資格(9)～(11)により出願を希望する者は、事前に以下の手続を行い、出願資格を認められなければ出願できません。

(1) 受付期間

第1回入試	第2回入試
2026年 6月 1日(月)～ 2026年 6月 5日(金) 必着	2026年11月 4日(水)～ 2026年11月10日(火) 必着

上記期間内に下記の提出先へ持参又は受付期間内に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

持参する場合の受付時間は、各日とも9時00分から17時00分までとします。(ただし、土曜日・日曜日を除きます。)

郵送の場合も、上記期限内に必着としますので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕をもって発送してください。

なお、封筒表面に「医歯薬学総合研究科(修士課程)出願資格事前審査書類在中」と朱書きし、発送時に到着日時を必ず確認しておいてください。

(2) 書類提出先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学医療系事務部学務課 教務グループ
大学院担当 (鹿田キャンパス管理棟1階) TEL: 086-235-7986

(3) 提出書類

① 「出願資格(9)又は(11)」によるもの

- ・出願資格認定申請書(本研究科所定の用紙)
- ・最終学歴(在学中の学校)の在学期間証明書 ・最終学歴(在学中の学校)の成績証明書^{注3}
- ・履修要覧(学生便覧)等
- ・受入教員の推薦書(受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書)
- ・封筒 1通(定型の封筒に返信先住所等を記入し、410円分の切手を貼付してください。)

② 「出願資格(10)」によるもの

- ・出願資格認定申請書(本研究科所定の用紙)
- ・最終学歴の卒業(修了)証明書^{注3} ・最終学歴の成績証明書^{注3}
- ・研究計画書(本研究科所定の用紙) ・研究業績調書(本研究科所定の用紙)
- ・主要な論文、研究発表等の写し
- ・受入教員の推薦書(受入の経緯及び出願資格があると思われる理由を明記した推薦書)
- ・封筒 1通(定型の封筒に返信先住所等を記入し、410円分の切手を貼付してください。)

注1) 上記の他、必要によりその他の証明書等の提出を求めることがあります。

注2) 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等には、その日本語訳を添付してください。

注3) 中国の大学又は大学院を卒業(修了)した方については、中国高等教育学生信息网(CHSI)発行の学位認証報告書(英文)、学歴証明書(英文)及び成績認証報告書(英文)を提出してください。ただし、CHSIが発行し、岡山大学に直接送付する認証報告書のみ有効とします。

※ CHSIへの手続については、5ページを参照のこと

(4) 認定方法

書類審査及び面接による。(面接の日程等の詳細は、後日通知します。)

	第1回入試	第2回入試
面接日程	2026年 7月 2日(木) 10:00~(予定)	2026年11月26日(木) 10:00~(予定)

事前審査の結果は、後日、申請者へ通知します。

出願資格が認められた方は、「医歯薬学総合研究科 修士課程 学生募集要項」により出願手続を行ってください。(事前審査で提出済みの証明書等の書類は、出願手続時に再度提出する必要はありません。)

医歯科学専攻案内

1 教育の基本的目標

大学院医歯薬学総合研究科は、以下の5つの教育の基本的目標を掲げます。

- 1) 社会的ニーズを把握し、地域から国際社会まで貢献する医療・研究・教育分野を構築する
- 2) 医・歯・薬学の専門的知識を結集した学際的研究・教育を推進する
- 3) 世界をリードする先端的・独創的研究を推進し、研究成果を発信する
- 4) 高度で幅広い知識を教授し、科学の進歩に適応しうる問題解決能力を涵養する
- 5) 社会人に再教育の場を提供して、生涯医療教育を推進する

2 養成する人材像

医歯科学の先端的な研究及び医療の推進や、地域の諸課題解決に貢献し得る先駆者

大学院医歯薬学総合研究科医歯科学専攻（修士課程）は、国際社会において高く評価されると共に地域社会において広く活用される研究成果の創出を基礎として、次のような人材を養成します。大学・学部を問わず自然科学及び応用科学等の多様な専門性を身につけた学生に対しては、医歯科学の先端的な研究及び医療の推進に貢献し得る人材を養成する。医療の実務経験を通して専門性が培われた社会人に対しては、リサーチマインドを有する保健・医療・福祉従事者、公務員などとして地域に貢献する人材を養成します。

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 実践的な問題を解決できる実践力
- 自律的に探究を推進する探究力
- 成果創出に活かせるコミュニケーション力
- 知の創成につながる幅広い専門力
- 人間性に富み国際的に通用する教養力

3 標準修業年限 及び 学位

標準修業年限： 2年

研究内容により次のいずれかの学位を取得できます。

修士（医科学）、 修士（公衆衛生学）、 修士（歯科学）、 修士（学術）

4 修了要件

2年以上在学し、所要科目32（医歯科学学位プログラム（社会人コース）は30）単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け、大学院の行う学位論文審査及び最終試験に合格すること。

5 修了者の予想される進路

医歯科学専攻では、出身大学での専攻を問わず、医学・歯学の基礎及び応用技術の習得を目標としていることから、修了後は、以下のような多様な領域の進路が予想されます。

- ① 医歯薬学総合研究科博士課程に進学し、医学及び歯学の教育・研究者を目指すことが可能です。
- ② 高度な専門性を有する実践家として、大学・民間研究所などの教育・研究機関、企業、行

政などの多様な領域において活躍が期待されます。

- ③ 臨床試験（治験・自主臨床試験等）関係では治験管理者，治験コーディネーター(CRC)，研究コーディネーター(SC)，新薬開発担当者，さらに臨床薬理学的手法により臨床研究の方法論並びに薬物作用発現機構の解明等に従事する研究者となることも可能です。また，医療機器企業では，医療機器の開発，治験，保守管理等への貢献が期待されます。
- ④ 歯学材料研究者，高度歯科医療のパートナー，先端的パラデンタル教育指導者，高齢化社会の口腔管理のコーディネーターなど先端的な歯科医療を支援する専門家としての活躍が期待されます。

6 学位プログラム

医歯科学専攻（修士課程）の修了要件は，「2年以上在学し，32（医歯科学学位プログラム（社会人コース）は30）単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，大学院の行う学位論文の審査及び最終試験に合格すること」となっています。単位の修得及び研究指導を受けるため，医歯科学学位プログラム，公衆衛生学学位プログラム（MPHプログラム）の2つの学位プログラムが用意されています。さらに医歯科学学位プログラムには一般コースと社会人コースの2つのコースが用意されています。

なお，次ページ以降は令和8年度入学者用のカリキュラムであり，カリキュラムは変更となることがあります。

■医歯科学学位プログラム

薬学・工学・理学・農学あるいは人文系などの異分野からの入学者が、医歯学の基礎を学び、所属する教育研究分野での研究活動により論文作成を行う最もポピュラーなプログラムです。修士課程修了後は、就職又は博士課程への進学のどちらも選択可能です。

授業科目一覧

授業科目	配当年次	備考（担当教員）	単位数	
			必修	選択必修
研究科共通科目				
医歯科学概論	1	大学院レベルの教養教育科目 [キャリア支援特別講義を含む] (大橋 俊孝)	2	
社会医歯科学	1	(神田 秀幸)	2	
大学院共通科目				
リーダーシップとSDGs	1	リーダーシップ論	2	
医科学研究	1~2	[特別研究] 修士(医科学)の学位取得を希望する医学系学生は、これらの科目を履修する。(指導教授)		医 4
歯科学研究	1~2	[特別研究] 修士(歯科学)の学位取得を希望する医学系学生は、これらの科目を履修する。(指導教授)		歯 4
人体解剖学実習	1	[プロジェクト・マネジメント実習] (川口 綾乃)	1	
プログラム専門科目				
生命倫理学	1	(粟屋 剛)	1	
人体構造学	1	(川口 綾乃, 岡村 裕彦)	2	
人体生理学	1	(成瀬 恵治)	2	
生化学	1	(大橋 俊孝)	2	
病理病態学	1	(松川 昭博)	2	
総合薬理学	1	(細野 祥之)	2	
生体材料学	1	(松本 卓也)	2	
臨床医歯科学概論	1	(森松 博史)	2	
医科学実習	1~2	修士(医科学)の学位取得を希望する医学系学生は、これらの科目を履修する。(指導教授)		医 4
歯科学実習	1~2	修士(歯科学)の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの科目を履修する。(指導教授)		歯 4
分子医科学演習	1・2	指導教授: 大橋, 中山, 富樫, 森實, 平沢, [臓器創造医療・生命医工学]		2
生体防御医学演習	1・2	指導教授: 廣田, 武内, [小児科学], 萩谷, 森松, 本田		2
再生医療学演習	1・2	指導教授: 湯浅, 尾崎, 笠原, 高成, 阪口, 寶田, 豊岡, 中尾, [消化器外科学]		2
細胞組織工学演習	1・2	指導教授: 大内, [細胞生理学], 川口, 成瀬		2
臨床治験学演習	1・2	指導教授: 荒木, 座間味, 前田		2
保健医療情報学演習	1・2	指導教授: 大塚(文), 神田, 頼藤		2
脳神経科学演習	1・2	指導教授: 浅沼, 石浦, 高木, [生化学], 田中		2
病態機構学演習	1・2	指導教授: 安藤, 大塚(基), 平木, 細野, 増山, 松川, 遠西 姫宮, 森実, 山元, 和田		2
口腔機能再建学演習	1・2	指導教授: [顎口腔再建外科学], 岡元, 窪木, 松本, 秋山, 宮脇, 吉田, 鈴木		2
口腔病態学演習	1・2	指導教授: 柳, 伊原木, 大原, 岡村, 高柴, 長塚		2
口腔健康発育学演習	1・2	指導教授: 上岡, 久保田, 沢, 仲野, 江國, HARA, 山本		2
グローバル・プレゼンテーション1	1・2	指導教授		1
グローバル・プレゼンテーション2	1・2	指導教授		1
修得すべき単位数			22	10

■医歯科学学位プログラム（社会人コース）

社会で学んだ専門領域に医歯科学の複眼的視点を加え社会の課題に対応する人材を養成するプログラムです。

授業科目一覧

授業科目	配当年次	備考（担当教員）	単位数	
				選択必修
研究科共通科目				
実践医歯科学概論	1	[導入科目] 大学院レベルの教養教育科目（大橋 俊孝）（オンデマンド）	1	1単位以上
社会医歯科学	1	[導入科目]（神田 秀幸）	2	
大学院共通科目				
リーダーシップとSDGs	1	リーダーシップ論	2	2単位以上
実践医科学研究	1～2	[特別研究] 修士（医科学）の学位取得を希望する医学系学生は、これらの科目を履修する。（指導教授）	医 10	いずれか
実践歯科学研究	1～2	[特別研究] 修士（歯科学）の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの科目を履修する。（指導教授）	歯 10	
人体解剖学実習	1	[プロジェクト・マネージメント実習]（川口 綾乃）	1	1単位以上
社会実装型医歯科学実習	1	[プロジェクト・マネージメント実習]（大橋 俊孝）	1	
疫学統計分析・演習Ⅰ※ ²	1	[プロジェクト・マネージメント実習]（高尾 総司）（オンデマンド）	2	
プログラム専門科目				
生命倫理学	1	（粟屋 剛）		1
人体構造学	1	（川口 綾乃，岡村 裕彦）		2
人体生理学	1	（成瀬 恵治）		2
生化学	1	（大橋 俊孝）		2
病理病態学	1	（松川 昭博）		2
総合薬理学	1	（細野 祥之）		2
生体材料学	1	（松本 卓也）		2
臨床医歯科学概論	1	（森松 博史）		2
実践医科学実習Ⅰ	1	修士（医科学）の学位取得を希望する医学系学生は、これらの科目を履修する。（指導教授）		2
実践医科学実習Ⅱ	1			2
実践医科学実習Ⅲ	2			2
実践医科学実習Ⅳ	2			2
実践歯科学実習Ⅰ	1	修士（歯科学）の学位取得を希望する歯学系学生は、これらの科目を履修する。（指導教授）		2
実践歯科学実習Ⅱ	1			2
実践歯科学実習Ⅲ	2			2
実践歯科学実習Ⅳ	2			2
分子医科学演習※ ¹	1・2	指導教授：大橋，中山，富樫，森實，平沢，[臓器創造医療・生命医学]		2
生体防御医学演習※ ¹	1・2	指導教授：廣田，武内，[小児科学]，萩谷，森松，本田		2
再生医療学演習※ ¹	1・2	指導教授：湯浅，尾崎，笠原，高成，阪口，實田，豊岡，中尾，[消化器外科学]		2
細胞組織工学演習※ ¹	1・2	指導教授：大内，[細胞生理学]，川口，成瀬		2
臨床治験学演習※ ¹	1・2	指導教授：荒木，座間味，前田		2
保健医療情報学演習※ ¹	1・2	指導教授：大塚（文），神田，頼藤		2
脳神経科学演習※ ¹	1・2	指導教授：浅沼，石浦，高木，[生化学]，田中		2
病態機構学演習※ ¹	1・2	指導教授：安藤，大塚（基），平木，細野，増山，松川，遠西，姫宮，森実，山元，和田		2
口腔機能再建学演習※ ¹	1・2	指導教授：[顎口腔再建外科学]，岡元，窪木，松本，秋山，宮脇，吉田，鈴木		2
口腔病態学演習※ ¹	1・2	指導教授：柳，伊原木，大原，岡村，高柴，長塚		2
口腔健康発育学演習※ ¹	1・2	指導教授：上岡，久保田，沢，仲野，江國，HARA，山本		2
予防医学※ ²	1・2	（神田 秀幸，久松 隆史）		2
疫学基礎論※ ²	1・2	（頼藤 貴志）		2
生物統計学基礎論※ ²	1・2	（高尾 総司）		2
グローバル・プレゼンテーション1※ ³	1・2	指導教授		1
グローバル・プレゼンテーション2※ ³	1・2	指導教授		1
修得すべき単位数				30

※1 繰り返し履修可。但し別分野に限る。

※2 公衆衛生学学位プログラム（MPHコース）で開講されている授業科目のうち指定する科目を履修し単位を取得した場合は選択必修科目として修了要件に算入できる。

※3 繰り返し履修可。ただし、グローバル・プレゼンテーション1とグローバル・プレゼンテーション2を合わせて2単位までとする。

■公衆衛生学学位プログラム（MPH プログラム）

少子高齢社会の到来を踏まえて、地域の医療機関、地方自治体等と連携し、公衆衛生学のリサーチマインドを有する保健・医療・歯科保健・福祉従事者、行政職、企業研究者等を養成することを目的としています。欧米の代表的な大学では公衆衛生大学院が設けられていますが、本プログラムは公衆衛生大学院の国際標準である疫学、生物統計学、環境保健学、社会科学・行動科学方法論、及び保健医療管理学の必須5分野を含む26科目を設定しており、修了後は「修士（公衆衛生学）」（Master of Public Health）、または「修士（学術）」の学位が授与されます。修了者は、上記のような知のプロフェッショナルとして地域に貢献しています。

授業科目一覧

授業科目	配当年次	備考（担当教員）	単位数	
			必修	選択
研究科共通科目				
【共通科目】				
医歯科学概論	1	大学院レベルの教養教育科目〔キャリア支援特別講義を含む〕（大橋 俊孝）		2
社会医歯科学	1	教養教育科目としての社会医学（神田 秀幸）		2
【概論】				
公衆衛生学概論	1・2	公衆衛生学全般の教育科目（神田 秀幸）		2
研究方法概論	1・2	研究方法論の教育科目（頼藤 貴志）	2	
歯科保健概論	1・2	歯科保健全般の教育科目（江國 大輔）		2
大学院共通科目【環境保健学】				
環境・産業保健論とSDGs	1・2	（高尾 総司）	2	
【共通科目】				
リーダーシップとSDGs	1	リーダーシップ論		2
【特別研究】【リサーチワーク】				
公衆衛生学研究演習Ⅰ	1～2	（頼藤 貴志，神田 秀幸，江國大輔）	6	
【プロジェクト・マネジメント実習】【生物統計学】				
疫学統計分析・演習Ⅰ	1・2	（高尾 総司）	2	
疫学統計分析・演習Ⅱ	1・2	（高尾 総司）		2
プログラム専門科目【プログラム科目】				
【疫学】				
疫学基礎論	1・2	（頼藤 貴志）	2	
疫学応用論	1・2	（頼藤 貴志）		2
【生物統計学】				
生物統計学基礎論	1・2	（高尾 総司）		2
【社会科学・行動科学方法論】				
社会疫学特論	1・2	（高尾 総司）		2
【保健医療管理学】				
医療政策論	1・2	（頼藤 貴志，浜田 淳）		2
【選択科目】				
論文の批判的吟味Ⅰ	1・2	（頼藤 貴志）		2
論文の批判的吟味Ⅱ	1・2	（頼藤 貴志）		2
予防歯科学Ⅰ	1・2	（江國 大輔）		2
予防歯科学Ⅱ	1・2	（江國 大輔）		2
社会系歯科学Ⅰ	1・2	（江國 大輔）		2
社会系歯科学Ⅱ	1・2	（江國 大輔）		2
予防医学	1・2	（神田 秀幸，久松 隆史）		2
食中毒調査方法論	1・2	（頼藤 貴志）		2
質的研究方法論	1・2	（小比賀 美香子）		2
【リサーチワーク】				
グローバル・プレゼンテーションⅠ	1・2	（頼藤 貴志，神田 秀幸，江國大輔）		1
グローバル・プレゼンテーションⅡ	1・2	（頼藤 貴志，神田 秀幸，江國大輔）		1
プログラム専門科目【演習科目】				
公衆衛生学演習	1～2	（頼藤 貴志，神田 秀幸，江國大輔）	6	
修得すべき単位数			20	10

7 医歯科学専攻の授業科目概要（医歯科学学位プログラム）（一般コース）

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必修	選 択	
医歯科学概論	2			この講義は大学院レベルの教養教育科目に位置づけられる。医歯科学領域のトピックに加え、関連のバイオサイエンス、自然科学、理工農学分野のトピックについて幅広く平易に概説する。また、ICTの活用、研究成果を国際的に発表するための英語論文の書き方など研究者のための医学英語、特許手続き・ベンチャー企業の立ち上げと運営・製薬関連企業における研究開発の位置付けなどについても、各分野の専門家を非常勤講師として招聘し教授する。キャリア支援特別講演では、主要な就職先業界の研究開発等に従事する専門家を招聘する。
社会医歯科学	2			社会における医歯学の役割、社会と医歯学との相互関係について、社会医学、医療政策、医療・病院管理、環境保健といった観点から、必要な基礎的知識を身につけるとともに、各講師の研究内容・方法や研究者としての歩みを知ってもらうことを目的とする。
リーダーシップとSDGs	2			リーダーシップ論
生命倫理学	1			ゲノム解析、遺伝子組み替え技術、生殖医療、移植医療などのテクノロジーの進歩により引き起こされる生命倫理の諸問題について教育し、正しい倫理に基づいて行動できる研究者・医療人を育てる。また、研究成果・遺伝情報などの秘密保持や権利帰属の国際的なルールについても習得する。
人体構造学	2			人体の正常な形態と構造についての知識を与える。同時に、医学職業人としての観察力を涵養し生命の尊さを考察する。
人体生理学	2			人体の正常な生理機能を学び、恒常性の維持機構即ちホメオダイナミクスの見事さを基礎的に理解することを到達目標とする。病態を理解するにもまず正常な生理機能の理解が必要である。人体機能は人体を構成する分子、細胞、組織、器官、全体の各レベルで十分理解された上で、さらにそれらの機能が有機的に関係付けられて初めて人体の機能が統合的に理解できたと言える。そこで、人体の統合的機能およびその調節をマイクロとマクロの双方から教授する。
生化学	2			この授業では以下の項目について概説する。 1) 生体を構成する分子とその代謝。 2) 細胞の構造と生理機能。後者は細胞分化、細胞分裂、細胞周期、細胞内シグナル伝達、細胞間シグナル伝達、細胞外マトリックス、ゲノム、エピゲノム制御、などを含む。 3) 生体分子と疾患との関わり。分子の変異・異常と疾患発症、分子病態の相関。
病理病態学	2			疾病についての基本的な概念を教授し、疾病の発生機序、進展、予後に関する知識を与え、診断、治療の原理を考える。

（次ページに続く）

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必 修	選 択 必 修	選 択	
総合薬理学	2			講義において、まず薬物の基本的な作用機構を理解できるようにする。薬物作用が個体・臓器組織・細胞・分子レベルでどのような変化として発現するかを、生体内の標的分子（薬物受容体）と薬物の相互作用という観点から概括し、一般的な原則について学ぶ。以上の総論をふまえて、現在薬理学教室で研究を行っている分野について各論的に講義する。
生体材料学	2			生体に生じた欠損、形成不全の形態と機能を代替する材料（器械を含む）ならびに生体の健康維持、増進を計る器材の基礎的性質および臨床応用について教授する。
臨床医歯科学概論	2			臨床医学の基礎をわかりやすく講義するとともに、臨床医学の各分野における最近の進歩やトピックスにも触れる。また疾病予防保険制度、医療制度の問題についても考える機会を与える。
人体解剖学実習	1			医学部医学科の有志等が行う夏期の解剖実習に参加し、人体解剖実習を行う。医歯科学を専攻する基礎的学習の一環として、人体の仕組みをより深く理解することを目指すとともに、医療人として必要な生命の尊厳に対する態度を涵養する。
医科学研究			医 4	医歯科学専攻では、修了認定の基準に「研究指導を受けていること」が含まれる。これを受けて本専攻では、受入指導教授による研究指導を単位化した授業科目を1年次から2年次に配当している。この授業は、研究活動と教員の研究指導を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成もこの授業に含まれる。
医科学実習			医 4	この授業は、1年次から2年次の学生の研究活動と教員の研究指導に関連した実習を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成に必要な実習指導科目である。
歯科学研究			歯 4	医歯科学専攻では、修了認定の基準に「研究指導を受けていること」が含まれる。これを受けて本専攻では、受入指導教授による研究指導を単位化した授業科目を1年次から2年次に配当している。この授業は、研究活動と教員の研究指導を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成もこの授業に含まれる。
歯科学実習			歯 4	この授業は、1年次から2年次の学生の研究活動と教員の研究指導に関連した実習を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成に必要な実習指導科目である。

(次ページに続く)

授 業 科 目	単 位 数			内 容
	必修	選択必修	選択	
<p>医歯科学研究を遂行するためには、研究の背景や人類の到達点について自ら学び、所属する教育研究分野でのこれまでの研究プロジェクトの歩みを知り、現状と課題を理解する必要がある。また、研究について大小様々な研究コミュニティで説明する必要もある。</p> <p>次の選択科目は、これらの活動を教員と学生が共に行うことで、学生が自然にこれらの技能を身につけるようデザインされた能動学習科目である。</p> <p>リサーチ・セミナー：学生が実施した研究活動の目的、方法、結果、考察についてレジメやスライドを用いて報告し、教員および他の学生と討論する。</p> <p>ジャーナル・クラブ：学生が自ら研究活動に関係する論文、総説を見つけ、その要点を解説する。</p> <p>学会発表の準備：発表要旨の作成、参加申し込みを行い、スライドやポスターを作成した後、発表練習を行う。</p> <p>各領域を担当する複数の教育研究分野の教員および学生が、これらの科目を共同で実施する場合もある。</p>				
分子医科学演習			2	<p>生体の構成単位である細胞のゲノム、遺伝子発現、遺伝子産物たるタンパク質（プロテオーム）、細胞外システムとの相互作用、などの総合的解析とそれらの診断、治療、創薬など医療への応用を中心に、最先端の分子生物学的医科学を広い視野で理解する。</p>
生体防御医学演習			2	<p>生体防御のメカニズムを侵入要因としての感染と防御要因としての免疫系の相互作用として総合的に習得する。具体的には、細菌、ウイルスなどの感染因子と個々の感染因子に対する免疫反応を習得する。一方、宿主免疫応答の基礎を体系的に理解する。</p>
再生医療学演習			2	<p>再生医療を指向する細胞生物学領域の基礎研究、人工臓器・器材の開発研究について、その基礎的知識を習得する。特に殆ど全ての生命科学の基盤である細胞培養の知識を技術に重点をおく。</p>
細胞組織工学演習			2	<p>細胞・組織のバイオメカニクスの基盤および細胞・組織の情報の流れと機能発現のフィジオミックな理論的実験的根拠について、その基礎的知識を習得する。</p>
臨床治験学演習			2	<p>臨床薬理から見た医薬品の臨床試験の方法やその評価方法、並びに新GCPの遵守の基、倫理性・科学性・データの信頼性確保上いかに治験を適正かつ円滑にすすめるべきか講義する。また、治験実施計画書や実施する上での問題点を取り上げ、それぞれの対応について講義を行う。</p>

(次ページに続く)

授 業 科 目	単 位 数			内 容	
	必修	選択 必修	選択		
保健医療情報学演習			2	医歯学の問題解決および判断支援のために、情報を効率的に保存・取出し・利用する方法を学ぶ。基盤的知識として、コンピュータ科学、情報通信、および統計学に関する基礎を習得する。また、生涯にわたって学習・教育・研究・臨床を適切に行う能力を身につけるため、問題を定式化し、情報を批判的に吟味しながら収集し、客観的な知見に基づいて解決への方策を見出し、これらの過程・結果を適切に記録し共有するための方法論を習得する。応用として、病院情報システム、医療情報の交換、セキュリティ技術についても教育する。	
脳神経科学演習			2	分子・細胞から個体に至る各レベルにおける脳神経機能の発現と制御メカニズムを教育する。また、その破綻によって生ずる各種脳疾患についても教授する。	
病態機構学演習			2	疾患の発生と進展の基礎について個体、細胞、分子の各レベルで概説すると共に、様々な死因の解明の方法の原理について教授する。	
口腔機能再建学演習			2	歯および顎骨の欠損などに伴って生ずる口腔機能障害の病因解明、診断、治療、予防法に関する基礎的および臨床的知識を習得する。	
口腔病態学演習			2	口腔・顎・顔面の領域に多く見られる感染・炎症・腫瘍などの疾患の病態を分子・細胞生物学のレベルから解析することによって、病因の解明、診断、治療に関する知識を統合的に講義する。そして、その病態の理解と現状の臨床応用のみならず、将来の研究の方向性を示す。	
口腔健康発育学演習			2	口腔、顎、顔面領域の構造と発生、発育について言及すると共に、発育・成長・加齢に伴った構造と機能の変化を疾病と健康の連続相の中で把握する。また、疾病の病因解明、診断治療、予防法に関する基礎的、臨床的知識を教育し、健康の保持・増進に関する概念を涵養する。	
グローバル・プレ ゼンテーション1				1	国外開催の国際学会（認定科目）
グローバル・プレ ゼンテーション2				1	国内開催の国際学会（認定科目）
修得すべき単位数	22	8	2		

医歯科学専攻の授業科目概要（医歯科学学位プログラム（社会人コース））

授 業 科 目	単 位 数		内 容
	選択必修		
実践医歯科学概論	1	1 単 位 以 上 必 修	この講義は大学院レベルの教養教育科目に位置づけられる。医歯科学領域のトピックに加え、関連のバイオサイエンス、自然科学、理工農学分野のトピックについて幅広く平易に概説する。（オンライン・オンデマンド予定）
社会医歯科学	2		社会における医歯学の役割、社会と医歯学との相互関係について、社会医学、医療政策、医療・病院管理、環境保健といった観点から、必要な基礎的知識を身につけるとともに、各講師の研究内容・方法や研究者としての歩みを知ってもらうことを目的とする。
リーダーシップとSDGs	2	2 単 位 以 上 必 修	リーダーシップ論
生命倫理学	1		ゲノム解析、遺伝子組み替え技術、生殖医療、移植医療などのテクノロジーの進歩により引き起こされる生命倫理の諸問題について教育し、正しい倫理に基づいて行動できる研究者・医療人を育てる。また、研究成果・遺伝情報などの秘密保持や権利帰属の国際的なルールについても習得する。
人体構造学	2		人体の正常な形態と構造についての知識を与える。同時に、医学職業人としての観察力を涵養し生命の尊さを考察する。
人体生理学	2		人体の正常な生理機能を学び、恒常性の維持機構即ちホメオスタシスの見事さを基礎的に理解することを到達目標とする。病態を理解するにもまず正常な生理機能の理解が必要である。人体機能は人体を構成する分子、細胞、組織、器官、全体の各レベルで十分理解された上で、さらにそれらの機能が有機的に関係付けられて初めて人体の機能が統合的に理解できたとと言える。そこで、人体の統合的機能およびその調節をマイクロとマクロの双方から教授する。
生化学	2		この授業では以下の項目について概説する。 1) 生体を構成する分子とその代謝。 2) 細胞の構造と生理機能。後者は細胞分化、細胞分裂、細胞周期、細胞内シグナル伝達、細胞間シグナル伝達、細胞外マトリックス、ゲノム、エピゲノム制御、などを含む。 3) 生体分子と疾患との関わり。分子の変異・異常と疾患発症、分子病態の相関。
病理病態学	2		疾病についての基本的な概念を教授し、疾病の発生機序、進展、予後に関する知識を与え、診断、治療の原理を考える。
総合薬理学	2		講義において、まず薬物の基本的な作用機構を理解できるようにする。薬物作用が個体・臓器組織・細胞・分子レベルでどのような変化として発現するかを、生体内の標的分子（薬物受容体）と薬物の相互作用という観点から概括し、一般的な原則について学ぶ。以上の総論をふまえて、現在薬理学教室で研究を行っている分野について各論的に講義する。

（次ページに続く）

授 業 科 目	単 位 数		内 容
	選択必修		
総合薬理学	2		講義において、まず薬物の基本的な作用機構を理解できるようにする。薬物作用が個体・臓器組織・細胞・分子レベルでどのような変化として発現するかを、生体内の標的分子（薬物受容体）と薬物の相互作用という観点から概括し、一般的な原則について学ぶ。以上の総論をふまえて、現在薬理学教室で研究を行っている分野について各論的に講義する。
生体材料学	2		生体に生じた欠損、形成不全の形態と機能を代替する材料（器械を含む）ならびに生体の健康維持、増進を計る器材の基礎的性質および臨床応用について教授する。
臨床医歯科学概論	2		臨床医学の基礎をわかりやすく講義するとともに、臨床医学の各分野における最近の進歩やトピックスにも触れる。また疾病予防保険制度、医療制度の問題についても考える機会を与える。
疫学基礎論	2		ヒト（人間集団）を対象として研究を実施する場合には、倫理的な制約などから、曝露の無作為割り付け等を伴う介入研究ではなく、観察研究により仮説を検証する必要に迫られることが少なくない。このような研究仮説を検証する際に疫学・統計学の基礎的知識は必須である。本講義では、主として観察研究デザインについて学ぶが、臨床医でも関心を持てるよう臨床試験についても言及する。
生物統計学基礎論	2		保健・医療の分野で統計学は必須である。本講義では、統計検定の大卒レベルを目標とする。
予防医学	2		履修生の職種を問わず、予防医学の基礎として 共通する基本的事項あるいは事例について履修し、職種あるいは専門領域間における認識の共通化を図る。また予防医学研究のマネジメントや倫理についても学ぶ。加えて外部講師から、予防医学の最新知識を得る。講義で得た知識・方法を実践し、「研究力」を高める。さらに文献検索のスキルアップも行う。
人体解剖学実習	1	1 単 位 以 上 必 修	医学部医学科の有志等が行う夏期の解剖実習に参加し、人体解剖実習を行う。医歯科学を専攻する基礎的学習の一環として、人体の仕組みをより深く理解することを目指すとともに、医療人として必要な生命の尊厳に対する態度を涵養する。
社会実装型 医歯科学実習	1		社会人学生が医歯科学専攻で修得した思考や手法を活かし、企業等で社会が直面する課題の解決に繋げるための調査方法の学習や議論を行い、解決策策定のプロセス等を学ぶ実習である。
疫学統計分析・ 演習 I	2		臨床研究を実際に行うことを想定し、文献検索、仮説の立案、対象者の選択、情報の収集とデータ化、分析を総合的に学ぶ。特に、統計解析ソフトStataを用いた課題解決型実習（プラクティカム）に重点をおく。（オンライン・オンデマンド予定）

(次ページに続く)

授 業 科 目	単 位 数		内 容
	選択必修		
実践医科学研究	医 10	い ず れ か を 必 修	医歯科学専攻では、修了認定の基準に「研究指導を受けていること」が含まれる。これを受けて本専攻では、受入指導教授による研究指導を単位化した授業科目を1年次から2年次に配当している。この授業は、研究活動と教員の研究指導を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成もこの授業に含まれる。
実践医科学実習 I～IV	医 各2		この授業は、各年次学生の研究活動と教員の研究指導に関連した実習を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成に必要な実習指導科目である。
実践歯科学研究	歯 10		医歯科学専攻では、修了認定の基準に「研究指導を受けていること」が含まれる。これを受けて本専攻では、受入指導教授による研究指導を単位化した授業科目を1年次から2年次に配当している。この授業は、研究活動と教員の研究指導を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成もこの授業に含まれる。
実践歯科学実習 I～IV	歯 各2		この授業は、各年次学生の研究活動と教員の研究指導に関連した実習を単位化したものである。学位審査に向けた学位論文（修士論文）の作成に必要な実習指導科目である。

(次ページに続く)

授 業 科 目	単 位 数	内 容
	選択必修	
<p>医歯科学研究を遂行するためには、研究の背景や人類の到達点について自ら学び、所属する教育研究分野でのこれまでの研究プロジェクトの歩みを知り、現状と課題を理解する必要がある。また、研究について大小様々な研究コミュニティで説明する必要もある。</p> <p>次の選択科目は、これらの活動を教員と学生が共に行うことで、学生が自然にこれらの技能を身につけるようデザインされた能動学習科目である。</p> <p>リサーチ・セミナー：学生が実施した研究活動の目的、方法、結果、考察についてレジメやスライドを用いて報告し、教員および他の学生と討論する。</p> <p>ジャーナル・クラブ：学生が自ら研究活動に関係する論文、総説を見つけ、その要点を解説する。</p> <p>学会発表の準備：発表要旨の作成、参加申し込みを行い、スライドやポスターを作成した後、発表練習を行う。</p> <p>各領域を担当する複数の教育研究分野の教員および学生が、これらの科目を共同で実施する場合もある。</p>		
分子医科学演習	2	<p>生体の構成単位である細胞のゲノム、遺伝子発現、遺伝子産物たるタンパク質（プロテオーム）、細胞外システムとの相互作用、などの総合的解析とそれらの診断、治療、創薬など医療への応用を中心に、最先端の分子生物学的医科学を広い視野で理解する。</p>
生体防御医学演習	2	<p>生体防御のメカニズムを侵入要因としての感染と防御要因としての免疫系の相互作用として総合的に習得する。具体的には、細菌、ウイルスなどの感染因子と個々の感染因子に対する免疫反応を習得する。一方、宿主免疫応答の基礎を体系的に理解する。</p>
再生医療学演習	2	<p>再生医療を指向する細胞生物学領域の基礎研究、人工臓器・器材の開発研究について、その基礎的知識を習得する。特に殆ど全ての生命科学の基盤である細胞培養の知識を技術に重点をおく。</p>
細胞組織工学演習	2	<p>細胞・組織のバイオメカニクスの基盤および細胞・組織の情報の流れと機能発現のフィジオミックな理論的実験的根拠について、その基礎的知識を習得する。</p>
臨床治験学演習	2	<p>臨床薬理から見た医薬品の臨床試験の方法やその評価方法、並びに新GCPの遵守の基、倫理性・科学性・データの信頼性確保上いかに治験を適正かつ円滑にすすめるべきか講義する。また、治験実施計画書や実施する上での問題点を取り上げ、それぞれの対応について講義を行う。</p>

(次ページに続く)

授 業 科 目	単 位 数	内 容
	選択必修	
保健医療情報学演習	2	医歯学の問題解決および判断支援のために、情報を効率的に保存・取出し・利用する方法を学ぶ。基盤的知識として、コンピュータ科学、情報通信、および統計学に関する基礎を習得する。また、生涯にわたって学習・教育・研究・臨床を適切に行う能力を身につけるため、問題を定式化し、情報を批判的に吟味しながら収集し、客観的な知見に基づいて解決への方策を見出し、これらの過程・結果を適切に記録し共有するための方法論を習得する。応用として、病院情報システム、医療情報の交換、セキュリティ技術についても教育する。
脳神経科学演習	2	分子・細胞から個体に至る各レベルにおける脳神経機能の発現と制御メカニズムを教育する。また、その破綻によって生ずる各種脳疾患についても教授する。
病態機構学演習	2	疾患の発生と進展の基礎について個体、細胞、分子の各レベルで概説すると共に、様々な死因の解明の方法の原理について教授する。
口腔機能再建学演習	2	歯および顎骨の欠損などに伴って生ずる口腔機能障害の病因解明、診断、治療、予防法に関する基礎的および臨床的知識を習得する。
口腔病態学演習	2	口腔・顎・顔面の領域に多く見られる感染・炎症・腫瘍などの疾患の病態を分子・細胞生物学のレベルから解析することによって、病因の解明、診断、治療に関する知識を統合的に講義する。そして、その病態の理解と現状の臨床応用のみならず、将来の研究の方向性を示す。
口腔健康発育学演習	2	口腔、顎、顔面領域の構造と発生、発育について言及すると共に、発育・成長・加齢に伴った構造と機能の変化を疾病と健康の連続相の中で把握する。また、疾病の病因解明、診断治療、予防法に関する基礎的、臨床的知識を教育し、健康の保持・増進に関する概念を涵養する。
グローバル・プレゼンテーション1	1	国外開催の国際学会（認定科目）
グローバル・プレゼンテーション2	1	国内開催の国際学会（認定科目）
修得すべき単位数	30	

医歯科学専攻の授業科目概要（公衆衛生学学位プログラム（MPH プログラム））

授 業 科 目	単 位 数		内 容
	必修	選択	
医歯科学概論		2	この講義は大学院レベルの教養教育科目に位置づけられる。医歯科学領域のトピックに加え、関連のバイオサイエンス、自然科学、理工農学分野のトピックについて幅広く平易に概説する。また、ICTの活用、研究成果を国際的に発表するための英語論文の書き方など研究者のための医学英語、特許手続き・ベンチャー企業の立ち上げと運営・製薬関連企業における研究開発の位置付けなどについても、各分野の専門家を非常勤講師として招聘し教授する。キャリア支援特別講演では、主要な就職先業界の研究開発等に従事する専門家を招聘する。
社会医歯科学		2	社会における医歯学の役割、社会と医歯学との相互関係について、社会医学、医療政策、医療・病院管理、環境保健といった観点から、必要な基礎的知識を身につけるとともに、各講師の研究内容・方法や研究者としての歩みを知ってもらうことを目的とする。
リーダーシップとSDGs		2	リーダーシップ論
公衆衛生学概論		2	公衆衛生学の基本的事項を学習するとともに、高度化・専門化をふまえつつ、職種あるいは専門領域間の学際的な思考を学ぶ。また、ライフコースに応じた健康課題や社会環境・生活環境など環境と健康問題の変遷や推移についても学ぶ。
研究方法概論	2		医学研究を実施する上で必須となる疫学や統計学の様々な方法論の基礎と研究計画から、実施、報告までの一連の流れを学ぶ。
歯科保健概論		2	歯科疾患の予防と公衆衛生の向上を踏まえて、地域社会の健康の保持増進を目的とする歯科保健の体系を学ぶ。
疫学基礎論	2		ヒト（人間集団）を対象として研究を実施する場合には、倫理的な制約などから、曝露の無作為割り付け等を伴う介入研究ではなく、観察研究により仮説を検証する必要に迫られることが少なくない。このような研究仮説を検証する際に疫学・統計学の基礎的知識は必須である。本講義では、主として観察研究デザインについて学ぶが、臨床医でも関心を持てるよう臨床試験についても言及する。
疫学応用論		2	疫学の理論的背景をもとにして、実際の医学研究への疫学の応用について学ぶ。
生物統計学基礎論		2	保健・医療の分野で統計学は必須である。本講義では、統計検定の大卒レベルを目標とする。
疫学統計分析・演習Ⅰ	2		臨床研究を実際に行うことを想定し、文献検索、仮説の立案、対象者の選択、情報の収集とデータ化、分析を総合的に学ぶ。特に、統計解析ソフトStataを用いた課題解決型実習（プラクティカム）に重点をおく。
疫学統計分析・演習Ⅱ		2	疫学、統計学の基礎の学習。課題解決型の実習。
環境・産業保健論と SDGs	2		<ul style="list-style-type: none"> ・環境保健 環境保健の問題を疫学的視点でみる。 ・産業保健 嘱託産業医活動を行えるだけの知識、スキルを網羅する。

（次ページに続く）

授 業 科 目	単 位 数		内 容
	必修	選択	
社会疫学特論		2	ハーバード大学公衆衛生大学院（Harvard T.H. Chan School of Public Health）のIchiro Kawachi教授による、社会疫学・行動経済学の保健対策応用に関する講義である。
医療政策論		2	当教室では、医療政策を医療サービスの供給と医療財政の両面から研究している。方法論としては、歴史的な分析、国際比較、社会観からみた医療の位置づけの分析などを特色とする。
論文の批判的吟味 I		2	臨床研究の実際について、実際に文献検索、仮説の立案、対象者の選択、情報の収集とデータ化、分析を学ぶ。
論文の批判的吟味 II		2	臨床研究の実際について、実際に文献検索、仮説の立案、対象者の選択、情報の収集とデータ化、分析を学ぶ。
予防歯科学 I		2	歯科疾患は病原菌、宿主、生活習慣などが複雑にからみあった多因子疾患であり、その予防および蔓延を防止し、ひいては国民の健康増進に貢献することを目標に必要な基礎科目を学ぶ。
予防歯科学 II		2	歯科疾患は病原菌、宿主、生活習慣などが複雑にからみあった多因子疾患であり、その予防および蔓延を防止し、ひいては国民の健康増進に貢献することを目標に必要な基礎科目を学ぶ。
社会系歯科学 I		2	地域保健・母子保健・学校保健・産業保健の実際の歯科に関連する課題に対して、問題解決の方法について学ぶ。
社会系歯科学 II		2	地域保健・母子保健・学校保健・産業保健の実際の歯科に関連する課題に対して、問題解決の方法について学ぶ。
予防医学		2	履修生の職種を問わず、予防医学の基礎として共通する基本的事項あるいは事例について履修し、職種あるいは専門領域間における認識の共通化を図る。また予防医学研究のマネジメントや倫理についても学ぶ。加えて外部講師から、予防医学の最新知識を得る。講義で得た知識・方法を実践し、「研究力」を高める。さらに文献検索のスキルアップも行う。
食中毒調査方法論		2	食中毒調査の実際について学ぶ。
質的研究方法論		2	公衆衛生、医療、福祉、医療者教育分野における研究に活用できる質的研究方法の基本を教授する。受講者が自らの研究活動に適用できるように、活用の方向性や実際についてもディスカッションする。
公衆衛生学研究	6		研究指導。
公衆衛生学演習	6		発表指導。
グローバル・プレゼンテーション 1		1	国外開催の国際学会（認定科目）
グローバル・プレゼンテーション 2		1	国内開催の国際学会（認定科目）
修得すべき単位数	20	10	

医歯科学専攻担当教授の主な研究内容

○ 医学系講座

Section of Medicine

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
<p>細胞組織学 Cytology and Histology</p> <p>TEL 086-235-7083</p> <p>http://www.okayama-u.ac.jp/user/anatomy1/</p> <p>saibousoshiki2014@gmail.com</p>	<p>教授 大内 淑代</p> <p>Professor OHUCHI, Hideyo</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新型光受容器および短波長感受オプシンの細胞組織学的機能解析 2. 神経網膜の発生分化と再生の分子機構の研究 3. 発生進化的アプローチによる再生の分子機構の解明 4. 腫瘍関連遺伝子および疾患関連遺伝子の生物学的・発生学的役割の解明 5. 病態解明と創薬を目指した疾患モデル動物・細胞の作製と解析 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cellular, immunohistochemical, and functional analysis of vertebrate novel photoreceptors and non-canonical opsins (Opsin5, Opsin 3) 2. Studies on molecular mechanisms of neural retina development, differentiation and regeneration 3. Studies on molecular mechanisms of tissue regeneration via evo-devo approaches 4. Studies on biological and developmental functions of tumor-associated genes and disease-related genes 5. Generation of disease-model animals/cells for elucidating pathophysiology and drug screening
<p>人体構成学 Human Morphology</p> <p>TEL 086-235-7088</p> <p>https://www.okayama-u-humanmorphology.website/</p> <p>akawa@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 川口 綾乃</p> <p>Professor KAWAGUCHI, Ayano</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大脳発生における神経前駆細胞の動態 2. 神経細胞の離脱と細胞配置の制御機構 3. 器官形成におけるEMT（上皮間葉転換）の制御 4. 基底膜の構造と機能 5. 成人組織細胞の可塑性 6. 組織幹細胞の機能破綻と疾患 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dynamics of neural progenitor cells during brain development 2. Mechanisms controlling neural cell delamination and cell positioning 3. Control of EMT (epithelial-mesenchymal transition) in organogenesis 4. Structure and function of the basement membrane 5. Developmental plasticity in human adult tissue cells 6. Molecular basis of tissue stem cells and cancer (stem) cells
<p>脳神経機構学 Medical Neurobiology</p> <p>TEL 086-235-7097</p> <p>https://okayama-medicalneuro.com/</p> <p>asachan@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 浅沼 幹人</p> <p>Professor ASANUMA, Masato 博士課程(募集停止) (Not recruiting)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経外脳内環境を標的とした神経疾患に対する新規神経保護方策の開発 2. グリア細胞の部位特異的プロファイルがもたらす脳内環境と神経保護 3. 環境要因誘発パーキンソン病モデルの脳腸病態解析 4. 食品中に溶出しうる内分泌攪乱物質の母胎への曝露が産児脳発達に及ぼす影響 5. 乱用薬物の神経毒性と防御 6. 神経細胞分化に関わる超らせんDNA結合タンパク質の分子機能解析 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Neuroprotection for neurological disorders targeted on non-neuronal brain environment 2. Brain environment and neuroprotection based on region-specific features of glial cells 3. Brain-gut neurodegeneration in environmental toxin-induced model of parkinson's disease 4. Effects of exposure of dam to endocrine disruptor on neonatal brain development 5. Neurotoxicity of abused drugs and neuroprotection 6. Molecular analysis of supercoiled DNA binding proteins related to neuronal differentiation
<p>細胞生理学 Cellular Physiology</p> <p>TEL 086-235-7105</p> <p>https://okayamaseiri1.wordpress.com/</p>	<p>[未定]</p> <p>undecided</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経系と他系（循環系,内分泌系など）の連関による細胞・個体調節と疾患・医療応用 2. 神経系とがん 3. メカニカルストレスによる細胞機能調節と疾患・医療応用 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Interaction between Neural and Other (Circulatory, Endocrinology) Systems, Disease to Medical Application 2. Neural System and Cancer (from Basic Science to Clinical Application) 3. Regulation of Cellular function by Physical stimulation, Disease to Medical Application

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>システム生理学 Cardiovascular Physiology TEL 086-235-7112 https://websv.okayama-u.ac.jp/phy2/ knaruse@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教 授 成瀬 恵治 Professor NARUSE, Keiji</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. メカニカルストレス受容・応答機構 2. メカノレセプターのクローニング・分子機構 3. 機械受容チャネルのパッチクランプを用いた解析 4. 心臓の機能とエネルギー解析 5. 心不全の分子メカニズム 6. メカニカルストレスと再生医療（骨・軟骨・心筋・皮膚） 7. 生殖補助医療（不妊治療） 8. 臓器チップ技術によるヒト臓器機能再現、および疾患モデル開発 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mechanotransduction 2. Cloning and identification of Mechanoreceptor 3. Patch clamp of stretch-activated channel 4. Cardiac function and energy analysis 5. Molecular mechanism of heart failure 6. Regenerative Medicine (bone, chondrocytes, heart, skin) 7. Infertility 8. Reproduction of human organ functions and development of disease models using organ-on-a-chip technology
<p>生化学 Biochemistry</p>	<p>[未定] undecided</p>		
<p>分子医化学 Molecular Biology and Biochemistry TEL 086-235-7127 http://www.okayama-u-mbb.jp/ oohashi@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教 授 大橋 俊孝 Professor OOHASHI, Toshitaka</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 脳の神経情報伝達を制御するペリニューロナルマトリックス 2. 骨・軟骨代謝学, 骨・軟骨のメカノバイオロジー 3. 基底膜の構築・遺伝子発現・器官形成と機能 4. 皮膚創傷治癒における細胞外マトリックス 5. 骨, 歯, 口腔粘膜再生療法の開発 6. 中枢無髄神経の機能解析 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Control of neuronal plasticity and synaptic function by perineuronal ECM 2. Bone and cartilage metabolism and mechanobiology of bone and articular cartilage 3. Function and expression of basement membranes in development and disease 4. Extracellular matrix in the wound healing of skin. 5. Tissue engineering of bone, tooth and oral mucosa 6. Functional analysis of unmyelinated fibers in the CNS
<p>薬理学 Pharmacology TEL 086-235-7138 https://www.okayamayakuri.com/ pharmacology@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教 授 細野 祥之 Professor HOSONO, Yasuyuki</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大規模データの統合的解析を入口にした生物種・領域横断的創薬研究 2. 多次元全細胞解析技術を用いた挑戦的基礎研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Drug development based on multi-omics approaches 2. Multi-dimensional comprehensive whole cell analysis in cancer pathobiology

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
病理学（免疫病理） Pathology and Experimental Medicine TEL 086-235-7141 http://www.okayama-u.ac.jp/user/byouri/pathology-1/HOME.html amatsu@md.okayama-u.ac.jp	教授 松川 昭博 Professor MATSUKAWA, Akihiro (募集停止) (Not recruiting)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 炎症・炎症性疾患の分子基盤解明 2. 炎症とサイトカン情報伝達 3. 炎症とがん 4. 敗血症の病態解明 5. サイトカイン・ケモカインと疾患 6. エクソソームとmiRNAによるがんの制御 7. 鉄制御を用いた新しいがん幹治療法の開発 8. 革新的医療材料・医療機器の開発 9. AIを活用した医師支援機器の開発 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Molecular mechanism of Inflammation and Inflammatory diseases 2. Cytokine signal transduction in inflammation 3. Inflammation and cancer 4. Molecular analysis of sepsis and septic shock 5. Role of cytokines and chemokines in health and disease 6. Cancer regulation by exosomes and miRNA 7. New strategy for cancer stem cell treatment focused on iron regulation 8. Development of innovative medical materials and devices 9. Development of artificial intelligence supported medical devices
病理学（腫瘍病理） Pathology and Oncology TEL 086-235-7149 https://okayama-pathology2.jimdofree.com/ hideyamamoto@okayama-u.ac.jp	教授 山元 英崇 Professor YAMAMOTO, Hidetaka	<ol style="list-style-type: none"> 1.骨軟部腫瘍の臨床病理・分子病理 2.頭頸部腫瘍の臨床病理・分子病理 3.消化器腫瘍の臨床病理・分子病理 4.リンパ腫の臨床病理・分子病理 5.がんの臨床病理・分子病理 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clinicopathology and molecular pathology of bone and soft tissue tumors 2. Clinicopathology and molecular pathology of head and neck tumors 3. Clinicopathology and molecular pathology of digestive organ tumors 4. Clinicopathology and molecular pathology of lymphomas 5. Clinicopathology and molecular pathology of cancer
感染症学 Infectious Diseases	教授 萩谷 英大 Professor HAGIYA, Hideharu	<ol style="list-style-type: none"> 1. 薬剤耐性メカニズムを解明するための全ゲノム解析の発展と応用 2. 感染症創薬科学に資する抗菌薬の研究開発 3. データサイエンスを基盤とした国際的な感染症疫学研究 4. デジタル・テクノロジーを応用した新時代の感染制御への挑戦 5. 顧みられない感染症（NTDs）の克服に向けた診断開発 6. 動物の疾患の分子疫学的研究 7. バクテリオファージに関する研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Development and Application of Whole-Genome Sequencing to Elucidate Mechanisms of Antimicrobial Resistance (AMR) 2. Enzybiotics for Infectious Disease Therapeutics: From Discovery to Development 3. Data Science-Driven International Infectious Disease Epidemiology 4. Innovating Infection Control for a New Era through Digital Technology 5. Diagnostic Development for the Eradication of Neglected Tropical Diseases (NTDs) 6. Molecular Epidemiological Research on Animal Diseases 7. Advanced Research on Bacteriophages
病原ウイルス学 Virology TEL 086-235-7167 http://www.okayama-u.ac.jp/user/virology/index.html vivivi@okayama-u.ac.jp	教授 本田 知之 Professor HONDA, Tomoyuki	<ol style="list-style-type: none"> 1. RNAウイルスの複製機構の解明 2. がんウイルスによる発がん機構の解明 3. レトロトランスポゾンとウイルスとの相互作用の解明 4. 新規ウイルスベクターの開発 5. 宿主による持続感染ウイルス制御機構の解明 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Analysis of replication mechanisms of RNA viruses 2. Analysis of oncogenic mechanisms of tumor viruses 3. Analysis of interactions between retrotransposons and viruses 4. Development of novel viral vector systems 5. Analysis of host anti-viral strategies against viral persistent infections

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
疫学・衛生学 Epidemiology TEL 086-235-7173 http://www.unit-gp.jp/eisei/wp/ ocdc@okayama-u.ac.jp	教 授 頼藤 貴志 Professor YORIFUJI, Takashi	1. 環境疫学 2. 小児・周産期保健 3. 社会疫学 4. 産業保健 5. 国際保健 6. 疫学理論, 解析方法論 7. その他, 疫学研究全般	1. Environmental Epidemiology 2. Child Health Epidemiology 3. Social Epidemiology 4. Occupational Health 5. Global Health 6. Theoretical Epidemiology and Analytical Methods 7. Other Specific Research Interests
公衆衛生学 Public Health TEL 086-235-7184 https://plaza.umin.ac.jp/okayamadph/ public@okayama-u.ac.jp	教 授 神田 秀幸 Professor KANDA, Hideyuki	1. 依存症・行動嗜癖の予防医学 ①インターネット行動嗜癖 ②ゲーム障害 ③アルコール ④喫煙 2. 予防循環器病学 ①家庭血圧変動要因と生活習慣 ②家庭血圧変動要因と外的要因	1. Preventive medicine for addictive behaviors 1) Internet addiction 2) Gaming disorder 3) Alcohol 4) Smoking 2. Preventive cardiology 1) Blood pressure at home and life-style 2) Blood pressure at home and environmental factors
炎症免疫学 Immunology and Inflammation TEL 086-235-7187 http://www.okayama-u.ac.jp/user/immuno/	教 授 廣田 圭司 Professor HIROTA, Keiji	1. 自己免疫性関節炎の病態・病理の解明 2. 3型免疫応答が関与する自己免疫・炎症性疾患の病態解明 3. Th17細胞の分化、制御機構の解明 4. 炎症免疫応答でのIL-23産生細胞の同定と制御機構	1. Dissecting the pathogenesis and pathology of autoimmune arthritis 2. Defining the pathogenic mechanisms of autoimmune and inflammatory diseases driven by type 3 immune responses 3. Defining the mechanisms of Th17 cell differentiation and regulation 4. Identifying IL-23-producing cells and their regulatory mechanisms in inflammatory immune responses
法医学 Legal Medicine TEL 086-235-7194 https://okadai-legmed.sakura.ne.jp/	教 授 姫宮 彩子 Professor HIMEMIYA, Ayako	1. 法医学情報の公衆衛生的応用に関する研究 2. ミオグロビンの法医診断への応用に関する研究 3. 臨床検査の死体試料への応用に関する研究 4. 乳幼児突然死に関する研究 5. 法医解剖における腫瘍性疾患に関する研究	1. Legal medicine for public health 2. Medico-legal aspects of myoglobin 3. Application of clinical laboratory medicine for forensic diagnosis 4. Sudden unexpected death of infant 5. Neoplasms/tumor-like lesions in forensic autopsy cases

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
病態生理・創薬学 Pathophysiology and Drug Discovery TEL 086-235-7378	教 授 中山 雅敬 Professor NAKAYAMA, Masanori	1. 血管内皮細胞機能不全によって引き起こされる疾患の研究 2. 糖尿病合併症の研究と薬剤の開発 3. 腫瘍の浸潤転移のメカニズムの解明と治療法の開発 4. 血管新生と成熟に関わるメカニズムの解明	1. Analysis of diseases caused by vascular endothelial cell dysfunction 2. Analysis of diabetic complications to develop the drugs 3. Elucidation of the mechanisms of tumour invasion and metastasis and development of clinical intervention 4. Elucidation of the mechanisms involved in angiogenesis and vessel maturation.
腫瘍微小環境学 Tumor Microenvironment TEL 086-235-7385 http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/dmb/index.html ytogashi@okayama-u.ac.jp	教 授 富樫 庸介 Professor TOGASHI, Yosuke	1. がん, 特に腫瘍免疫に関するトランスレーショナルリサーチ (TR) / リバースTR 2. 腫瘍微小環境の1細胞解析研究 3. 免疫ゲノム研究 4. 免疫代謝研究 5. がん免疫療法に関する作用機序や新たな標的に関する研究 6. 細胞療法に関する研究 7. 肝炎と微小環境の関係に関する研究	1. Translational research (TR)/reverse TR in cancer, especially cancer immunology 2. Research of single-cell analyses for tumor microenvironment 3. Research of cancer immunogenomics 4. Research of cancer immunometabolism 5. Research of mechanisms and novel targets in cancer immunotherapies 6. Research of cell therapies 7. Research of hepatitis and microenvironment
細胞生物学 Cell Biology TEL 086-235-7394 http://www.okayama-u.ac.jp/user/cellbiol/ masa-s@md.okayama-u.ac.jp	教 授 阪口 政清 Professor SAKAGUCHI, Masakiyo	1. 炎症性がん進展の分子機構解明とそれに基づく分子標的治療法の開発 2. 線維化を導く炎症病態・増悪化への移行を許す炎症病態の分子機構解明とそれに基づく分子標的治療法の開発 3. がん遺伝子治療への適用と医療用組み換えタンパク質産生の高効率化を目指した哺乳細胞用超高効率遺伝子発現ベクターの開発 4. ミトコンドリアの機能恒常性維持, 分解, 新生の分子機構解析とそれに基づく神経変性疾患の発症, 進展機序の理解 5. 神経変性疾患治療薬の開発	1. Dissection of molecular mechanisms of cancer metastasis. 2. Dissection of molecular mechanisms for the nature of tissue-specific switches of inflammation that exert further aggravation and fibrosis in several inflammatory diseases. 3. Exploiting the super gene expression vector that is helpful for gene therapy and generation of recombinant proteins. 4. Analysis of molecular mechanism of neurodegenerative diseases focusing on mitochondrial function 5. Development of therapeutic methods for neurodegenerative diseases
臓器創造医療・生命医工学 Organ Generation and Biomedical Engineering			

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>組織機能修復学 Regenerative Science TEL 086-235-7407 http://regsci.mdps.okayama-u.ac.jp/ takarada@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 寶田 剛志 Professor TAKARADA, Takeshi</p>	<p>1. ヒトiPS細胞を利用した再生医療・ヒト病態モデリング (がん、骨格系統疾患) 2. マルチオミクス解析による分化や疾患における分子ネットワーク機序の解明</p>	<p>1. Regenerative medicine and Disease modeling using human induced pluripotent stem cells 2. Elucidation of molecular network mechanisms in cell differentiation and disease by multi-omics analysis</p>
<p>消化器・肝臓内科学 Gastroenterology and Hepatology TEL 086-235-7216 http://www.okayama-gastro.com/</p>	<p>教授 大塚 基之 Professor OHTSUKA, Motoyuki</p>	<p>1. 消化管癌 (食道・胃・大腸)・胆膵癌の病態解明と治療法の開発 2. H.pyloriの分子生物学と病態生理 3. 炎症性腸疾患 (クローン病, 潰瘍性大腸炎) の発症機序と治療法の開発・研究 4. 大腸癌の基礎・臨床研究 5. 胆膵癌の早期診断法の確立と予後の改善 6. 肝炎 (B型, C型など) の慢性化機序の解明と治療法の開発 7. 肝癌の発症機序と発癌防止の分子遺伝学的治療に関する研究 8. 肝細胞癌に対する治療成績の向上と新しい治療法の開発 9. 自己免疫性肝疾患の発症機序と治療法の開発 10. 消化器分子生物学 11. 酸化ストレスと消化器疾患</p>	<p>1. Investigation of the mechanism of chronicity and development of the novel therapy in viral hepatitis (HBV and HCV) 2. Investigation of the molecular genetic mechanism and development of the new therapy in hepatocellular carcinoma 3. Investigation of the pathogenesis of autoimmune hepatitis and development of its novel therapy 4. Investigation of the pathogenesis of inflammatory bowel disease (Chron's disease and ulcerative colitis) and development of its novel therapy 5. Establishment of the early diagnosis and improvement of the prognosis in biliary and pancreatic cancer 6. Development of new endoscopic surgery in gastroenterological cancer 7. Investigation of molecular mechanism and pathogenesis in H.pylori infection 8. Basic and clinical investigation of colon cancer 9. Improvement of the treatment outcomes and development of the new therapy in hepatocellular carcinoma 10. Molecular biology in gastroenterology and hepatology</p>
<p>血液・腫瘍・呼吸器内科学 Hematology, Oncology and Respiratory Medicine TEL 086-235-7224 http://www.okayama-u.ac.jp/user/ninai/ yosmaeda@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 前田 嘉信 Professor MAEDA, Yoshinobu</p>	<p>1. がん免疫療法に関する作用機序や新たな標的に関する研究 2. 造血幹細胞移植後の免疫再構築に関する研究 3. 免疫代謝ミトコドリア研究 4. 造血幹細胞移植後の移植片対宿主病 (GVHD) のメカニズムの解明 5. がん、特に腫瘍免疫に関するトランスレーショナルリサーチ (TR) /リバーズTR 6. 肺癌発症機序の解明 7. 肺癌における抗癌剤耐性機序の分子生物学的解明 8. 骨髄微小環境による造血制御機構の解析 9. 腫瘍微小環境の1細胞解析研究 10. リンパ系腫瘍の網羅的遺伝子解析とその臨床応用 11. 間質性肺疾患における線維化病態の解明: 線維化に関する因子の分子生物学的研究 12. 移植肺を利用した特発性間質性肺炎の次世代シーケンサーによる分子生物学的解析 13. COPDおよび喘息の病態解明と、治療薬が効果を及ぼすメカニズムの解明</p>	<p>1. Identification of molecular pathogenesis and genomics related to clinical outcome in lymphoid cancers 2. Mechanisms of the resistance to epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors (EGFR-TKI) for lung cancer with activating EGFR mutations 3. Carcinogenesis and chemoprevention in lung cancer 4. Clinical and experimental hematopoietic stem cell transplantation: biology of hematopoietic stem cells, mechanisms of stem cell mobilization, and mechanisms of graft versus host disease (GVHD) using mouse model or human samples 1. Research of mechanisms and novel targets in cancer immunotherapies 2. Research of immune reconstitution post allogeneic HCT 3. Research of cancer immunometabolism in mitochondria 4. Mechanistic analysis of graft versus host disease (GVHD) using mouse model or human samples 5. Translational research (TR)/reverse TR in cancer, especially cancer immunology 6. Carcinogenesis and chemoprevention in lung cancer 7. Mechanisms of the resistance to epidermal growth factor receptor-tyrosine kinase inhibitors (EGFR-TKI) for lung cancer with activating EGFR mutations 8. Clinical and experimental hematopoietic stem cell transplantation: biology of hematopoietic stem cells 9. Research of single-cell analyses for tumor microenvironment 10. Identification of molecular pathogenesis and genomics related to clinical outcome in lymphoid cancers 11. Mechanisms of fibrosis in interstitial lung disease 12. Molecular biological analysis from transplanted lung specimen in idiopathic interstitial pneumonitis 13. Mechanisms underlying the disease development of bronchial asthma and COPD, and the effects of several molecules for suppressing these diseases using murine models and human samples</p>

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>腎・免疫・内分泌代謝内科学 Nephrology, Rheumatology, Endocrinology and Metabolism</p> <p>TEL 086-235-7232</p> <p>http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/daisan/index.html</p> <p>sannai@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 和田 淳</p> <p>Professor WADA, Jun</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 肥満症, メタボリックシンドローム, 糖尿病, 糖尿病血管合併症の発症機構の解明と新しい治療法の開発 2. 腎炎・ネフローゼ症候群の成因解明と新規治療の開発 3. 腎再生へむけて: ネフロン構造再構築及びそれに関する幹細胞の研究と応用 4. 尿中糖鎖プロファイリングによる腎臓病新規バイオマーカーの同定 5. 血管新生関連因子調節を介した腎障害進展制御治療法の開発 6. 自己免疫疾患の成立・進展機構の解明(関節リウマチ・全身性エリテマトーデスなど) 7. 血管作動物質による血圧調節機構及び高血圧の発症・進展機構の解明 8. 内分泌臓器におけるホルモン合成・分泌調節機構の解明と臨床応用 9. 動脈硬化の成因の解明と治療法の開発 10. 大動脈瘤の成因及び進展機序の解明と治療の試み 11. 腎不全合併症の病態解明と新規バイオマーカーの開発 12. 腹膜透析に関する再生療法と新たな腹膜機能評価法の開発 13. 電子カルテ情報を用いたリウマチ・膠原病患者データベースシステムの開発 14. 多変量解析を用いたリウマチ・膠原病疾患活動性予測モデルの探索 15. 自然免疫・サイトカイン産生・炎症の制御機構の解明 16. 糖尿病・骨粗鬆症発症に関わる骨芽細胞機能の検討 17. 骨代謝・胎生期骨発生を制御する新規メカニズムの解明 18. 敗血症の病態形成メカニズム解明と新規治療法開発 19. 癌浸潤を制御する新規メカニズムの解明 20. 人工知能 (AI) を使用した腎疾患治療・診断法の開発 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Investigation of the pathogenesis of obesity, metabolic syndrome, diabetes and its vascular complications and development of new therapeutic strategies 2. Elucidation of the pathogenesis of IgA nephropathy and nephrotic syndrome and development of their novel therapy 3. Kidney regeneration and its translational research: Investigation of the mechanism between renal stem/progenitor cell and development/regeneration 4. Identification of novel biomarkers for kidney diseases by urinary glycan profiling by lectin array 5. Development of therapeutics to suppress the progression of renal injuries via regulating angiogenesis-associated factors 6. Exploration for the pathogenesis of autoimmune diseases (Rheumatoid arthritis, Systemic lupus erythematosus etc.) 7. Investigation of the developmental mechanism of hypertension and hypertensive organ damages induced by vasoactive factors 8. Exploration of the mechanism of synthesis and secretion of hormones and their clinical applications 9. Investigation of the mechanism of atherosclerosis and approach to a new therapeutic strategy 10. Exploration of the mechanism of aortic aneurysm and establishment of a new therapeutic strategy 11. Elucidation of the mechanism of complication of renal failure and identification of its novel biomarkers 12. Peritoneal regeneration for peritoneal dialysis: Exploitation cell therapy to protect peritoneal sclerosis on peritoneal dialysis patients and clinical application of new diagnostic methods of peritoneal functions 13. Development of database for connective tissue diseases using electronic medical records 14. Exploitation of prognostic model for activity of connective tissue diseases using multivariate analysis. 15. Investigation of the molecular mechanism of innate immunity, cytokine production and inflammation. 16. Investigation of the role of osteoblastic protein for diabetes and osteoporosis. 17. Investigation of the molecular mechanisms of bone biology and embryonic bone development. 18. Investigation of the pathogenesis of septic shock. 19. Investigation of the molecular mechanisms of cancer invasion. 20. Development of treatment and diagnosis method for kidney disease using artificial intelligence (AI)
<p>精神神経病態学 Neuropsychiatry</p> <p>TEL 086-235-7242</p> <p>http://psychiatry.ccsv.okayama-u.ac.jp/</p> <p>manabuta@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 高木 学</p> <p>Professor TAKAKI, Manabu</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神疾患の臨床精神薬理的・分子生物学的研究 2. 精神腫瘍学およびコンサルテーション・リエゾン精神医学領域の研究 3. 老年精神疾患および認知症の臨床精神医学的・神経病理学的研究 4. 性別不合の臨床精神医学的研究 5. こどもの発達とメンタルヘルスの評価・介入研究 6. 精神障害の自己免疫機序の研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clinical Psychopharmacology and Molecular Biology for Psychiatric Disorder 2. Research in Psycho-Oncology and Consultation-Liaison Psychiatry 3. Neuropathological and Clinical Research on Geriatric Mental Disorders and Dementia 4. Clinical Psychiatric Research on Gender incongruence 5. Research on Child Development and Mental Health: Assessment and Intervention 6. Research on Autoimmune Mechanisms in Mental Disorders

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>小児医科学 Pediatrics TEL 086-235-7247 http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/index.html</p>	<p>[未定] undecided</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経ウイルス感染症の宿主側発症因子および病態解析と治療法の確立 2. 小児炎症疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み 3. 先天性心疾患の非観血的治療法と再生医学療法の確立 4. 小児がんの遺伝子診断と造血幹細胞移植に関する研究 5. 骨系統疾患の遺伝子解析に基づく新しい治療法の確立 6. 腎尿路疾患における病態解析とそれに基づく新規治療法開発の試み 7. 思春期発来機構の解明と成長における成長因子の役割 8. 小児期心身症（特に不登校，神経性食欲不振症）の誘因の評価と新しい治療法の確立 9. ハイリスク新生児の管理向上と長期予後改善に関する研究 10. 産産期における酸化ストレスの病態に関する研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Viral encephalitis: biological responses, pathophysiological analysis, therapeutic strategies 2. Inflammatory disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 3. Congenital cardiac defects: non-operative interventions, regenerative medicine 4. Pediatric cancer: genetic analysis, hematopoietic stem cell implantation 5. Metabolic bone disorders: genetic analysis, therapeutic strategies 6. Renal and urinary tract disorders: pathophysiological analysis, therapeutic strategies 7. Adolescent medicine: mechanism of puberty, various growth factors 8. Psychosomatic medicine: school non-attendance, anorexia nervosa, integrated strategies 9. High-risk infants: critical care, management for better outcome 10. Perinatal medicine: oxidative stress related disorders, therapeutic strategies
<p>小児発達病因病態学 Pediatric Neurology TEL 086-235-7372 http://cneuro.hospital.okayama-u.ac.jp/ toshiki.take@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 武内 俊樹 Professor TAKENOUCHI, Toshiki</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. てんかん外科の成績改善に向けた頭皮上・頭蓋内脳波バイオマーカーの探索 2. 小児神経遺伝性疾患の遺伝子解析と病態解明 3. 小児の髄液中神経伝達物質の測定 4. ケトン食療法を行うてんかん患者のメタボローム解析 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Biomarkers in scalp and intracranial electroencephalography to improve seizure outcome after epilepsy surgery 2. Genomic analysis and molecular investigations in childhood neurogenetic diseases 3. Neurotransmitters in cerebrospinal fluid in children 4. Metabolome analysis for patients undergoing the ketogenic diet
<p>消化器外科学 Gastroenterological Surgery TEL 086-235-7255 http://www.ges-okayama-u.com/</p>	<p>[未定] undecided 2026年10月入学 (募集停止) (Not recruiting)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. がんの遺伝子治療，ウイルス療法，免疫療法，集学的治療 2. がんの微小環境（がん関連線維芽細胞など）を標的とする治療研究 3. がんの腹膜播種を標的とする治療研究 4. がんに対するナノメディシンを用いた研究 5. 好中球を中心としたがん病態の研究 6. 消化器がんのプレジジョン医療研究（がんの遺伝子診断・リキッドバイオプシー・バイオマーカー探索） 7. 消化器領域の低侵襲治療（鏡視下手術，ロボット手術）の研究 8. 高度肥満症に対する外科治療の研究 9. 薬物療法・集学的治療の臨床研究・臨床試験 10. 生体・脳死肝移植の臨床研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Gene therapy, virotherapy, immunotherapy, and multidisciplinary therapy for cancer 2. Investigation of novel target therapy for cancer microenvironment (cancer-associated fibroblasts) 3. Novel antitumor therapy for peritoneal metastasis 4. Nanomedicine for cancer diagnosis and treatment 5. Neutrophil and cancer biology research 6. Cancer precision medicine research (Genetic profiling, liquid biopsy, and identification of predictive biomarkers in gastrointestinal neoplasm) 7. Minimally invasive therapy (MIT) (laparoscopic surgery, robotic surgery) for gastrointestinal disease 8. Bariatric surgery for advanced obesity 9. Clinical research and trials of chemotherapy and multidisciplinary therapy 10. Deceased and living donor liver transplantation

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
呼吸器・乳腺内分泌外科学 General Thoracic Surgery and Breast and Endocrinological Surgery TEL 086-235-7262 http://www.nigeka-okayama-u.jp/ toyooka@md.okayama-u.ac.jp	教 授 豊岡 伸一 Professor TOYOOKA, Shinichi	1. 外科腫瘍学 2. 肺癌手術 3. 肺移植 4. 乳腺内分泌療法 5. 肺癌の遺伝子異常 6. 乳癌化学療法・分子標的治療 7. 胸腔鏡手術 8. 呼吸器外科における再生医療	1. Surgical oncology 2. Surgery for lung cancer 3. Lung transplantation 4. Endocrine therapy for breast cancer 5. Gene alteration in lung cancer 6. Chemotherapy and molecular-targeted therapy for breast cancer 7. Video-assisted thoracoscopic surgery 8. Regenerative medicine in thoracic surgery
整形外科学 Orthopaedic Surgery TEL 086-235-7270 https://www.okayama-ortho.jp/ orth surg@md.okayama-u.ac.jp	教 授 尾崎 敏文 Professor OZAKI, Toshifumi	1. 骨軟部腫瘍の発生メカニズムと集学的治療 2. 関節疾患の病態と治療に関する研究 (1) 関節リウマチ, 変形性関節症の病態解析 (2) 関節疾患の新しい外科的治療法の開発 3. 脊椎及び脊髄疾患の発生メカニズムと外科的治療 4. 運動器再生の研究 5. 小児整形外科疾患の治療体系の確立 6. スポーツ外傷の予防と治療 7. 筋・神経疾患の電気生理学的研究と治療法の開発 8. 骨折癒合の研究と治療法の開発 9. 運動器生体材料の開発	1. Treatment of Bone and Soft Tissue Tumor 2. Study and Treatment of Joint Disorders 3. Study and Treatment of Spinal Disorders 4. Regeneration of Musculoskeletal System 5. Establishment of Treatment of Pediatric Disorders 6. Treatment of Sports Injuries 7. Development of New Method of Fracture Healing 8. Electric Physiological Analysis of Musculoskeletal Disorders 9. Development of Biomaterials for Musculoskeletal System
皮膚科学 Dermatology TEL 086-235-7282 http://www.okayama-hihuka.jp/ info@okayama-hihuka.jp	教 授 森実 真 Professor MORIZANE, Shin	1. 皮膚における自然免疫の解析 2. ヘルペスウイルス関連皮膚疾患の病態解明 3. 表皮ケラチノサイトのセリンプロテアーゼ活性の解析 4. 尋常性乾癬の病態解析と新規治療法開発 5. アトピー性皮膚炎の病態解析と新規治療法開発 6. 化膿性汗腺炎の病態解析と新規治療法開発 7. ネザートン症候群の病態解析と新規治療法開発	1. Innate immunity in the skin 2. Herpesvirus-associated skin diseases 3. Serine protease activity in epidermal keratinocytes 4. Pathological analysis of psoriasis vulgaris and development of new treatments 5. Pathological analysis of atopic dermatitis and development of new treatments 6. Pathological analysis of hidradenitis suppurativa and development of new treatments 7. Pathological analysis of Netherton syndrome and development of new treatments

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>腎泌尿器科学 Urology TEL 086-235-7284 http://www.uro.jp/okayama/ uro2@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 荒木 元朗 Professor ARAKI, Motoo</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前立腺癌・腎癌に対する遺伝子・細胞治療の基礎的・臨床的研究 2. 尿路上皮癌に対する標的医療の開発, 研究 3. 尿路癌における抗癌剤薬剤耐性に関する研究 4. アニマルモデルを用いた低侵襲治療の開発研究 5. iPS細胞を用いた尿道括約筋機能再生のための基盤的研究 6. 超音波カラードプラー法を用いたクリトリス血流の評価: 骨盤手術による影響 7. 女性泌尿器科疾患患者における性機能調査 8. BPH, OAB患者における新しいバイオマーカーとしての尿中NGFに関する研究 9. 性ホルモン投与による性同一性障害患者の身体的生化学的変化の臨床研究 10. 性機能に関する脳機能局在の解析 11. 性ホルモンの代謝機能への影響に関する臨床的研究 12. 腎移植時の虚血再灌流障害の研究 13. 難治性尿路性器感染症の分子イメージングによる解析と薬剤投与方法の解析 14. 薬剤耐性菌による尿路バイオフィーム感染症に対する治療法の確立 15. 尿路性器感染症における薬剤耐性菌の遺伝子解析と予防・治療法に関する研究 16. 性感染症の原因微生物の探索研究と疫学調査 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Gene and cell therapy for prostate cancer and renal cancer 2. Developmet of targeted therapy for urothelial carcinoma 3. Analysis of anti-cancer drug resistance in urological cancer 4. Clinical development of minimum invasive therapy using animal model 5. Tissue engineering using iPS in the treatmne of urologic dysfunction 6. Evaluationf of clitoral blood flow changes after female pelvic surgery 7. Survey of sexual function in patients with pelvic organ prolapse and overactive bladder 8. Analysis of urinary NGF level in patients with BPH, CP/CPPS, and OAB 9. Hormonal therapy for Gender Identity Disorder (GID) 10. Brain functional localizaion related to sexual function 11. Sex hormone & Metabolism 12. Ischemia reperfusion injury in kidney transplant 13. Molecular Imaging for Intractable Urinary Tract Infection 14. Biofilms, Urinary Tract Infections and Antimicrobial Agents 15. Analysis of Drug-resistant Pathogens in Genitorinary Tract Infection 16. Sexually Transmitted Infection
<p>眼科学 Ophthalmology TEL 086-235-7293 http://okayama-u-oph.jp/ oph@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 森實 祐基 Professor MORIZANE, Yuki</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 網膜硝子体疾患の病態研究 2. 網膜硝子体疾患の新規治療法の開発 3. iPS細胞由来網膜色素上皮細胞の臨床応用研究 4. 緑内障の病態研究 5. 斜視の画像解析研究 6. 外眼筋固有知覚に關係した眼位の研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Pathology of vitreoretinal disease 2. Development of new treatments for vitreoretinal disease 3. Clinical application study of iPS cell-derived retinal pigment epithelial cells 4. Glaucoma Pathology Research 5. Research on image analysis of strabismus 6. Study of ocular alignment related to proprioception of extraocular muscles
<p>耳鼻咽喉・頭頸部外科学 Otolaryngology TEL 086-235-7307 http://www.okayama-u.ac.jp/user/jibika-1/index.html jibika@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 安藤 瑞生 Professor ANDO, Mizuo</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 異嗅覚症のメカニズムと嗅覚再生 2. 急性感音難聴の分子遺伝学的解析 3. 新生児聴覚スクリーニングによる難聴早期診断の意義の疫学研究 4. 中耳炎症性疾患の病態解析 5. 好酸球性副鼻腔炎の病態解析 6. 頭頸部腫瘍の疫学および病態解析 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mechanism of dysosmia and regeneration of olfaction 2. Molecular genetics of acute sensorineural hearing loss 3. Epidemiological study on the significance of early diagnosis of hearing loss with neonatal hearing screening 4. Pathophysiological mechanisms of otitis media and cholesteatoma 5. Pathophysiology of eosinophilic rhinosinustitis 6. Analysis of epidemiological and pathophysiological characteristics of Head and Neck tumors

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
放射線医学 Radiology TEL 086-235-7313 https://radiology.hsc.okayama-u.ac.jp/ radiol@cc.okayama-u.ac.jp	教 授 平木 隆夫 Professor HIRAKI,Takao	<ol style="list-style-type: none"> 1. 放射線治療に関する基礎的・臨床研究 2. 核医学的手法による腫瘍評価法の研究, 特にPET/CTについて 3. CT・MRIを用いた新しい撮像法及び診断法の研究 4. AIの画像診断への応用に関する研究 5. 画像ガイド下針生検の基礎的・臨床的研究 6. 画像ガイド下腫瘍アブレーションの基礎的・臨床的研究 7. ロボットIVRの開発 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Basic and clinical research of radiation therapy 2. Tumor evaluation using the method of nuclear medicine, especially with PET/CT 3. Novel imaging and diagnostic techniques with CT and MRI 4. Application of AI to imaging diagnosis 5. Basic and clinical research of image-guided biopsy 6. Basic and clinical research of image-guided tumor ablation 7. Development of robotic interventional radiology
産科・婦人科学 Obstetrics and Gynecology TEL 086-235-7317 http://www.okayama-u-obgyn.jp/ masuyama@cc.okayama-u.ac.jp	教 授 増山 寿 Professor MASUYAMA, Hisashi	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠糖尿病と妊娠高血圧症候群の病態解析と次世代への影響 2. 出生前診断 3. 核内受容体の分子内分泌学的検討-特に周産期, 悪性腫瘍- 4. 婦人科悪性腫瘍の遺伝子解析 5. 婦人科悪性腫瘍患者のQOLに関する研究 6. 不育症・反復流産に関する研究 7. 子宮内膜症・子宮腺筋症に関する研究 8. 多嚢胞性卵巣症候群に関する研究 9. 女性悪性腫瘍患者の妊孕能温存に関する研究 10. 月経前症候群に関する研究 11. 性同一性障害に関する研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Gestational diabetes mellitus and preeclampsia and those effect on next generation 2. Prenatal diagnosis 3. Nuclear receptors in perinatal medicine and oncology 4. Gene analyses of gynecological malignancies 5. Quality of life of gynecological malignancy patients 6. Recurrent pregnancy loss (RPL) 7. Endometriosis and adenomyosis 8. Polycystic ovary syndrome (PCOS) 9. Oncofertility / Fertility preservation 10. Premenstrual syndrome (PMS) 11. Gender identity disorder (GID)

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>麻酔・蘇生学 Asesthesiology and Resuscitology TEL 086-235-7324 http://okadamasui.com morima-h@md.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教 授 森松 博史 Professor MORIMATSU, Hiroshi</p>	<p>1. 多臓器不全の病態の解明と治療に関する研究 (1) 侵襲によるサイトカインの変動の解明 (2) 侵襲に対するヘムの役割の解明 (3) 臓器不全の予防と治療に関する分子生物学的研究 2. 疼痛の機序および治療に関する研究 3. 麻酔・集中治療・ペインクリニックに関する臨床研究</p>	<p>1. Study on elucidation of pathophysiology and therapy of multiple organ failure 1)Elucidation of cytokine fluctuation in response to invasion 2)Elucidation of functional role of heme against invasion 3)Molecular biological study on prevention and therapy of organ failure 2. Study on mechanisms and management of pain 3. Clinical Research relating to Anesthesiology, Intensive Care, and Pain Medicine</p>
<p>脳神経外科学 Department of Neurological Surgery TEL 086-235-7336 http://neuro.hospital.okayama-u.ac.jp/</p>	<p>教 授 田中 將太 Professor TANAKA, Shota</p>	<p>1. 中枢神経系疾患に対する細胞療法・運動療法 2. 中枢神経系疾患に対する電気刺激療法 3. パーキンソン病・脊椎脊髄疾患に対する臨床研究 4. 光遺伝学と生体内カルシウムイメージングを用いたパーキンソン病の新たな病態生理の解明 5. 光遺伝学を用いた新たな疼痛メカニズムの解明 6. 悪性グリオーマのゲノム代謝解析に基づく治療標的の同定 7. 脳腫瘍に対する遺伝子治療・ウイルス療法の開発と臨床応用 8. シングルセルマルチオミクス解析による悪性グリオーマの腫瘍微小環境解析 9. 脳腫瘍のradiogenomics解析 10. くも膜下出血後の早期脳損傷の病態解析 11. くも膜下出血後脳血管攣縮の病態解析 12. MRIと脳血管撮影画像を用いたeloquent areaの同定 13. 日本人小児における標準的な頭蓋形状の解析</p>	<p>1. Cell therapy and rehabilitation for the central nervous system disorders 2. Electrical stimulation for the central nervous system disorders 3. Clinical research for Parkinson's disease and spinal disease 4. Novel Pathophysiology of Parkinson's Disease Elucidated by Optogenetics and In Vivo Calcium Imaging 5. Elucidation of a novel pain mechanism using optogenetics 6. Identification of therapeutic targets based on genomic and metabolic analyses of malignant gliomas 7. Development and clinical application of gene therapy and oncolytic virotherapy for brain tumors 8. Analysis of the tumor microenvironment in malignant gliomas using single cell multiomics analysis 9. Radiogenomic analysis of brain tumors 10. Pathophysiological analysis of early brain injury after subarachnoid hemorrhage 11. Analysis of pathophysiology of cerebral vasospasm after aneurysmal subarachnoid hemorrhage 12. Identification of eloquent area using MRI and cerebral angiography 13. Analysis of standard cranial shape in Japanese children</p>

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>総合内科学 General Medicine TEL 086-235-7342 http://okayama-u-sougounaika.jp/ sougounaika@cc.okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 大塚 文男 Professor OTSUKA, Fumio</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合内科・総合診療領域 <ul style="list-style-type: none"> ・発熱・浮腫・めまい・全身倦怠感といった一般的症状から解析する症候学の研究 ・ポリファーマシー・フレイル・サルコペニアといった視点の老年医学研究 ・不明熱患者の素因検索・自己炎症性疾患の遺伝子素因の研究 ・新型コロナウイルス感染症（COVID-19）罹患後の後遺症状に関する研究 ・世界における本邦の総合診療医の在り方に関する研究 ・診断困難例や難治性症状の診断と治療にむけたAIやVRなどのデバイスを用いた探索的研究 ・医師、患者を含む医療を取り巻く当事者の関係性の研究（質的研究） ・総合診療における複雑性/不確実性に関する研究（質的研究） 2. 内分泌代謝領域 <ul style="list-style-type: none"> ・総合診療の現場から、幅広い内分泌代謝関連の臨床的・クエスチョン を紐解く臨床研究 ・骨代謝マーカー・尿中ステロイド・ビタミンD活性の有有用性、血糖値と精神 心理状況に関する臨床研究 ・成長因子BMP（骨形成蛋白）と卵巣ステロイド分泌調節に関する基礎研究 ・内分泌リズム調節因子・時計遺伝子と下垂体・副腎ホルモン分泌制御に関 する基礎研究 3. 感染症領域 <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤耐性菌に対するゲノムシーケンス解析による薬剤耐性メカニズムの 把握 ・感染性疾患の発生・死亡トレンド解析のためのビッグデータ解析 ・院内感染症疫学 ・新型コロナウイルス感染症を取り巻く基礎的・臨床的・社会的影響の調査 ・VR（バーチャルリアリティ）を応用した感染症教育 4. 東洋医学（漢方医学）領域 <ul style="list-style-type: none"> ・東洋医学（漢方医学）に関する臨床研究 5. 医学教育領域 <ul style="list-style-type: none"> ・卒前・卒後教育において、「共感性」「物語能力」「モチベーション」 「バーンアウト」をテーマとした量的・質的な医学教育研究 ・ウェブ環境やVRやAIなど新しい技術を用いた医学教育手法の開発と その効果に関する研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. General Medicine <ul style="list-style-type: none"> Clinical research on various symptoms Geriatric studies on polypharmacy, frail, and sarcopenia Clinical research for fever of unknown origin Clinical research for symptoms and characteristics of long COVID/ post COVID-19 condition Research on the state of Japanese general practitioners in the world Exploratory research using AI, VR and other devices towards the diagnosis and treatment of difficult-to-diagnose cases and intractable symptoms Clinical research for relationships between patients, family, doctors and other health professionals (Qualitative study). Clinical research for complexity and uncertainty in primary care (Qualitative study). 2. Endocrinology <ul style="list-style-type: none"> Clinical research Laboratory study on BMP, circadian rhythm, steroidogenesis and feedback system 3. Infectious Disease <ul style="list-style-type: none"> Genome sequences on antimicrobial resistance (AMR) Big-data analysis on the trend of infectious diseases Hospital epidemiology for Infectious Diseases Basic, clinical, and social impacts by COVID-19 Medical education on infectious diseases by Virtual Reality (VR) 4. Oriental (Kampo) Medicine <ul style="list-style-type: none"> Clinical research 5. Medical Education <ul style="list-style-type: none"> Quantitative and qualitative study on medical education Research on the development and effectiveness of medical education methods using new technologies such as web environments, VR and AI

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>循環器内科学 Cardiovascular Medicine TEL 086-235-7346 http://okayama-u-cvm.jp/index.html</p>	<p>教授 湯浅 慎介 Professor YUASA, Shinsuke</p>	<p>1. 人工知能と心血管疾患iPS細胞を用いた疾患表現型解析と治療薬の探索 (基礎) 2. ゲノム編集技術を用いた心血管疾患モデル作製とオミックス解析による治療標的の探索 (基礎) 3. 心血管疾患の病態におけるメカノバイオロジー機構の解明 (基礎) 4. 心血管細胞特異的な遺伝子・薬物送達方法の開発 (基礎) 5. 心血管疾患患者由来サンプルのオミックス解析による病態解析と新規バイオマーカーの探索 (臨床・基礎) 6. 人工知能を用いた心血管疾患患者のリスク層別化と新規バイオマーカーの探索 (臨床) 7. 成人先天性心疾患の統合的治療戦略の確立 (臨床) 8. 不整脈のゲノム解析と新規カテーテル治療法の開発 (臨床) 9. 心血管疾患患者の遠隔診療システムの開発 (臨床)</p>	<p>1. Disease phenotyping and drug discovery using artificial intelligence and iPS cells derived from patients with cardiovascular diseases (Basic research) 2. Animal models of cardiovascular diseases using genome editing technology and omics analysis to explore therapeutic targets (Basic research) 3. Mechanobiological mechanisms in the pathogenesis of cardiovascular diseases (Basic research) 4. Development of cardiovascular cell-specific gene and drug delivery methods (Basic research) 5. Omics analysis of clinical samples derived from patients with cardiovascular diseases to analyze pathogenesis and search for novel biomarkers (Clinical/basic research) 6. Risk stratification and novel biomarkers for cardiovascular disease patients using artificial intelligence (Clinical research) 7. Establishment of integrated treatment strategies for adult congenital heart disease (Clinical research) 8. Genomic analysis and development of novel catheter-based therapies for arrhythmias (Clinical research) 9. Development of telemedicine system for patients with cardiovascular diseases (Clinical research)</p>
<p>心臓血管外科学 Cardiovascular Surgery TEL 086-235-7359 https://okayama-u-cvs.com cvsokayama@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 笠原 真悟 Professor KASAHARA, Shingo</p>	<p>心臓部門 1. 複雑心奇形の外科治療に関する研究 2. 新生児・乳児開心術に関する研究 3. 心筋保護に関する研究 (特にチアノーゼ性心筋) 4. 開心術時, 大動脈手術時における臓器保護に関する研究 5. Tissue engineering 法を用いた弁付導管, 血管作製 6. 小兒人工心臓の開発 7. 心筋再生治療の研究 8. 心臓移植に関する研究 9. 先天性心疾患の病態解明</p> <p>血管部門 1. Diamond-like-carbon の医療応用に関する開発研究 2. 動脈硬化性疾患におけるHMGB-1の役割を解明する研究 3. 血管外科手術中の臓器保護 (特に脊髄保護) に関する研究</p>	<p>Research for Cardiac Surgery 1. Surgical treatment of complex congenital heart disease 2. Neonatal and infantile open heart surgery 3. Myocardial protection for cyanotic myocardium 4. Organ protection in major cardiovascular surgery 5. Development of valved conduit and vascular graft using tissue engineering method 6. Development of pediatric artificial heart 7. Cardiac stem cell therapy for heart failure 8. Heart transplantation 9. Dissecting the pathogenesis of congenital heart disease</p> <p>Research for Vascular Surgery 1. Application of Diamond-like-carbon to Medical devices 2. Mechanism and the role of HMGB-1 in the atherosclerotic disease 3. Organ protection for vascular surgery (spinal cord protection)</p>

<p>教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail</p>	<p>指導教授 Professor</p>	<p>研究内容</p>	<p>Research Projects</p>
<p>脳神経内科学 Neurology TEL 086-235-7365 https://www.okayama-u.ac.jp/user/shinnai/</p>	<p>教授 石浦 浩之 Professor ISHIURA, Hiroyuki</p>	<p>1. 脳卒中の臨床的基礎的研究 (1) 脳梗塞の病態解明と治療法確立 (臨床的研究) (2) 脳梗塞の光イメージング (臨床的基礎的研究) (3) 脳梗塞の分子イメージング (臨床的基礎的研究) (4) 脳梗塞とメタボリック症候群の臨床的解析 (臨床的研究) (5) 脳梗塞とメタボリック症候群の基礎的関連研究 (基礎的研究) (6) 神経幹細胞を用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) (7) iPS細胞を用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) (8) ウイルスベクターを用いた脳梗塞の再生医療 (基礎的研究) 2. 認知症の臨床的基礎的研究 (1) アルツハイマー病の病態解明と治療法確立 (臨床的研究) (2) 認知症の神経心理学的研究 (臨床的研究) (3) 認知症の脳画像診断研究 (臨床的研究) (4) アルツハイマー病の臨床工学的病態解析 (臨床的基礎的研究) (5) アルツハイマー病モデルマウスを用いた病態解析と治療法開発 (基礎的研究) (6) アルツハイマー病とメタボリック症候群の臨床的解析 (臨床的研究) (7) アルツハイマー病とメタボリック症候群の基礎的関連研究 (基礎的研究) (8) アルツハイマー病の新薬治療 (臨床的研究) 3. 神経変性疾患の臨床的基礎的研究 (1) 遺伝性神経変性疾患の遺伝子解析研究 (臨床的基礎的研究) (2) パーキンソン病の臨床的基礎的研究 (臨床的基礎的研究) (3) 筋萎縮性側索硬化症の臨床的基礎的研究 (臨床的基礎的研究) (4) 神経変性疾患の脳画像科学解析 (臨床的基礎的研究) (5) 神経変性疾患の分子イメージング診断 (基礎的研究) (6) 神経変性疾患の再生医療開発 (臨床的基礎的研究) 4. 生活習慣病・メタボリック症候群と神経内科疾患の臨床的基礎的研究 (1) 生活習慣病・メタボリック症候群とアルツハイマー病 (臨床的基礎的研究) (2) 生活習慣病・メタボリック症候群と認知症 (臨床的基礎的研究) (3) 生活習慣病・メタボリック症候群のモデルマウス研究 (基礎的研究)</p>	<p>1. Gene and stem cell therapy for ischemic stroke, 2. Neuroprotection for ischemic stroke, 3. In vivo optical neuroimaging for neurological diseases, 4. In vivo nano-particle therapy for stroke, 5. Gene and stem cell therapy for neurodegenerative diseases, 6. Alzheimer's diseases and metabolic syndrome with mouse model, 7. Clinical neuroimaging with MRI, MEG, PET and SPECT, 8. Clinical study for neuroimmunological diseases, 9. iPS cell transplantation for stroke model, 10. Clinical analysis of Alzheimer disease with new drug 11. Molecular genetic study of hereditary neurodegenerative and muscular diseases</p>
<p>救命救急・災害医学 Emergency, Critical Care and Disaster Medicine TEL 086-235-7426 http://okayama-u-qq.sakura.ne.jp/ qq-nakao@okayama-u.ac.jp</p>	<p>教授 中尾 篤典 Professor NAKAO, Atsunori</p>	<p>1. 救急医療システムの科学的検証と構築 2. 災害医療システムの科学的検証と構築 3. 侵襲に対する生体内防御機構と制御 4. 各種機械補助の効果と生体侵襲 5. 各種救命救急処置の開発と有効性の検討</p>	<p>1. Evaluation & Development of Emergency Medical System 2. Evaluation & Development of Disaster Medical System 3. Investigation of Biological Response and Defence Mechanism for Insult 4. Evaluation of Effect and Adverse Effect by Mechanical Supports 5. Evaluation & Development of Critical Care Methods</p>

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
形成再建外科学 Plastic and Reconstructive Surgery TEL 086-235-7214 https://www.prsokayama.com/	教 授 高成 啓介 Professor TAKANARI, Keisuke	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血管付き組織移植 2. リンパ浮腫の発生機序と治療法 3. 頭頸部癌の再建 4. 四肢の再建 5. 性同一性障害に対する外科的治療（生殖器移植） 6. 自己集合性ペプチドハイドロゲル 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Vascularized tissue transplantation 2. Lymphedema treatment and mechanism 3. Head and neck cancer reconstruction 4. Limb reconstruction 5. Gender identity disorder surgical treatments (Transplantation of genital organs) 6. Self-assembling peptide hydrogel
腫瘍医学 Medical Oncology TEL 086-235-7385 p9a72qnr@okayama-u.ac.jp	教 授 遠西 大輔 Professor ENNISHI, Daisuke	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造血器腫瘍（特に悪性リンパ腫）のマルチオミクス解析 2. 造血器腫瘍免疫療法（特にCAR-T細胞療法や二重特製抗体療法）の耐性機序の解明とその打開治療の開発 3. 固形がんの大規模ゲノム解析とバイオマーカー探索 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Multi-omics analyses of hematologic malignancies, in sepcial of lymphomas 2. Determination of molecular mechanism in refractory/resistance of immuno-therapies and development of novel therapeutic approach in hematologic malignancies 3. Large scale cancer genomic analysis and discovery of biomarkers of solid cancers
臨床遺伝子医療学 Clinical Genomic Medicine TEL 086-235-7436 https://cgm.hsc.okayama-u.ac.jp hir-aki45@okayama-u.ac.jp	教 授 平沢 晃 Professor HIRASAWA, Akira	<ol style="list-style-type: none"> 1. 網羅的遺伝子解析技術を用いた臓器横断的発癌機序の解明 2. 遺伝性腫瘍症候群に対するがん死低減策の構築 3. 社会のニーズに応えるためのゲノム医学研究プロセスの構築 4. 遺伝性疾患当事者支援と患者・市民参画(PPI)に関する実践的研究 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Translational cancer genome research with omics approach 2. Hereditary tumors and decreased cancer death 3. Genomic research to meet the needs of society 4. Support for people with hereditary diseases and patient and public involvement (PPI)
臨床薬剤学 Clinical Pharmacy TEL 086-235-7640 https://pharm.hospital.okayama-u.ac.jp/ zamami-y@okayama-u.ac.jp	教 授 座間味 義人 Professor ZAMAMI, Yoshito	<ol style="list-style-type: none"> 1. データサイエンスを基盤としたトランスレーショナル・リサーチ <ol style="list-style-type: none"> 1) 難治性疾患を標的としたドラッグリポジショニング研究 2) がんを標的としたドラッグリポジショニング研究 3) 抗がん剤による有害事象の発現機序解明および治療法の確立 2. 薬剤業務のデジタルトランスフォーメーション化 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Translational research based on data science <ol style="list-style-type: none"> 1) Drug development for the intractable diseases using drug repositioning approach 2) Discovery of novel anticancer drugs using drug repositioning approach 3) Investigation of the mechanism of anticancer drug-induced adverse events and establish a novel therapeutic strategy 2. Digital transformation of pharmaceutical services

教育研究分野 及び 連絡先 Department, Website, E-mail	指導教授 Professor	研究内容	Research Projects
医療情報応用学 Applied Health Informatics	教授 関 倫久 Professor SEKI, Tomohisa	1. 機械学習・AIによる疾患リスク予測モデルおよび臨床意思決定支援システムの開発 2. 医療分野における大規模言語モデル（LLM）の評価と医療応用に関する研究 3. 医療リアルワールドデータを用いた臨床疫学およびデータベース研究	1. Development of machine learning-based disease risk prediction models and clinical decision support systems 2. Evaluation and healthcare applications of large language models (LLMs) 3. Clinical epidemiology and database research using medical real-world data (RWD)
免疫制御学 Immune Regulation	黒崎 知博 KUROSAKI, Tomohiro	1,液性免疫記憶の構築 2,メモリーB細胞の生成・維持機構 3,プラズマ細胞の長期寿命を支える微小環境 4,変異ウイルス感染防御 5,インフルエンザ万能ワクチンの開発	1,Architecture of humoral immune memory system 2,Generation and maintenance of memory B cells 3, Microenvironments to support longevity of plasma cells 4,Prtection against variant virus infection 5, Development of influenza universal vaccines

入学検定料支払の流れ

入学検定料支払の流れは、以下のとおりです



STEP 1
事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを
用意してください。
(スマートフォン、タブレットは非推奨)

STEP 2
入学検定料支払サイトにアクセス

日本語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-jpn>
または、
英語サイト <https://e-apply.jp/n/okayama-payment-eng>
または、
大学
ホームページ <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/index.html>
からアクセス

STEP 3
個人情報の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①試験方式、研究科等

②テスト送信メールの確認
テストメール送信を行い、登録アドレスにテストメール受信の確認後、メールアドレス下の【メール確認済】のチェックを入れてください。

③個人情報(氏名・住所等)

④申込登録完了
受付番号(12桁)は必ず控えてください。個人情報を確認する場合と、入学検定料支払証明書を出力する際に必要になります。

⑤入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑥入学検定料支払証明書
(イメージ)

「支払済内容を確認・印刷」ボタンより、受付番号(*)、生年月日、メールアドレスを入力・ログインすると、自分が登録した内容確認、Web志願書の出力ができます。

受付番号(12桁)メモ
227484221761

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控え、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、入学検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、個人情報登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い方法

1 クレジットカードでの支払い

個人情報の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

個人情報の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

- レジで支払い可能
- 店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなかも、コンビニ、

FamilyMart



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

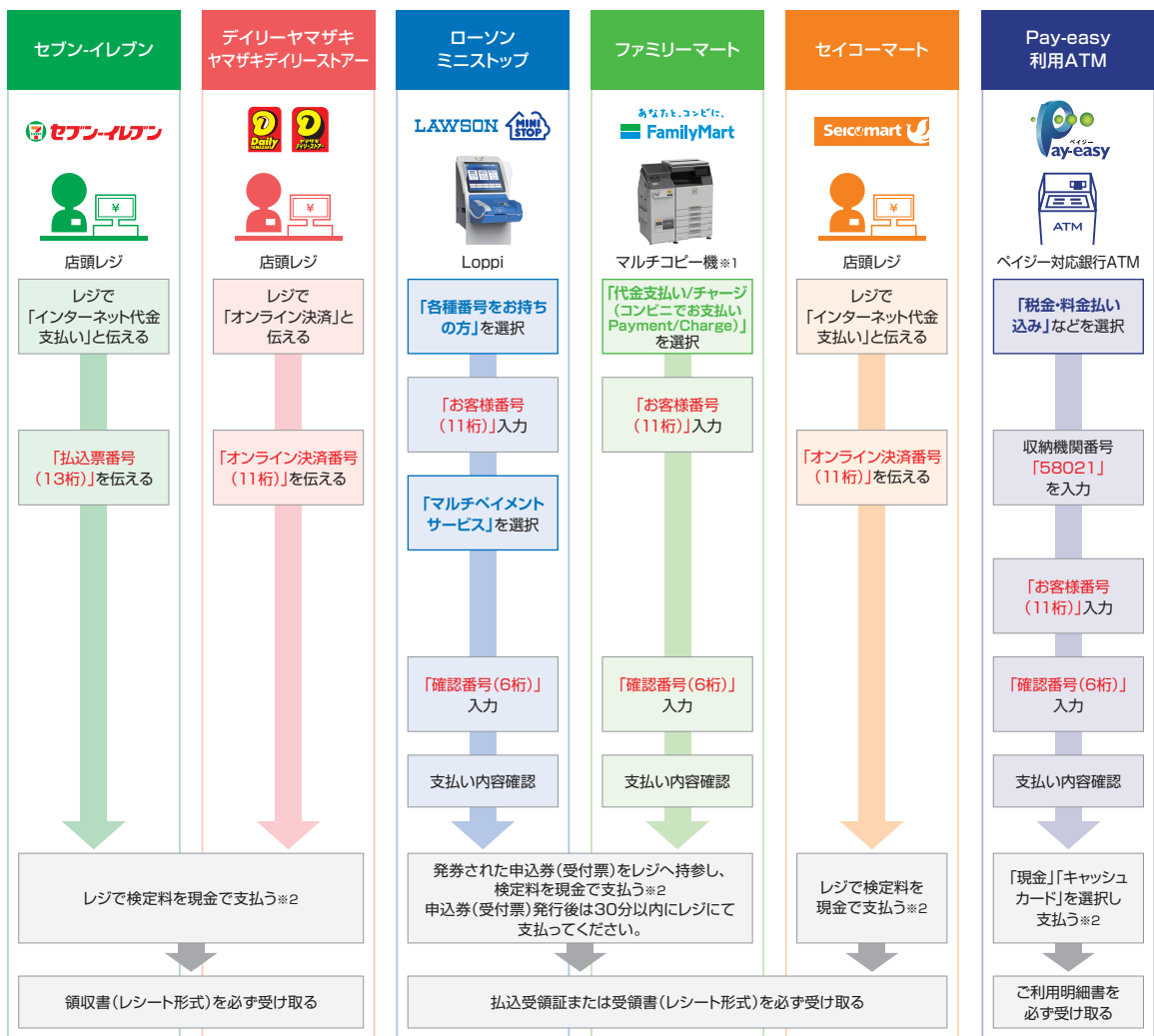
4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

個人情報の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

3 コンビニエンスストア



※1:店舗によっては、マルチコピー機でなくfamiポートを利用する場合があります。

※2:ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

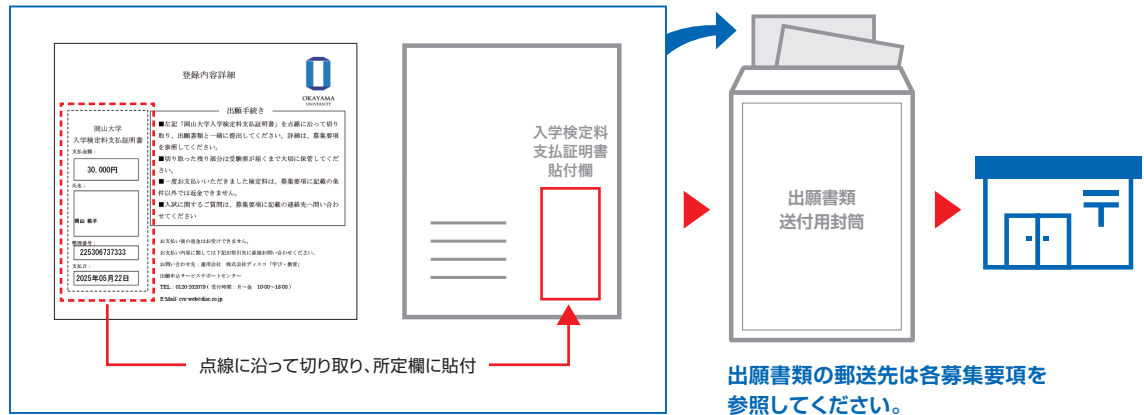
STEP

5



入学検定料支払証明書の印刷

個人情報登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、入学検定料支払証明書を点線に沿って切り取り、所定欄へ添付してください。その他の出願に必要な書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「**書留・速達郵便**」で郵送してください。※出願締切日は各募集要項を参照してください。



〈支払完了〉

出願時の 注意点

出願は学生募集要項記載の必要書類と入学検定料支払証明書を併せて郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

支払は24時間可能です。個人情報登録、入学検定料の支払は出願締切日17時(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各募集要項で定められた時間内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。